

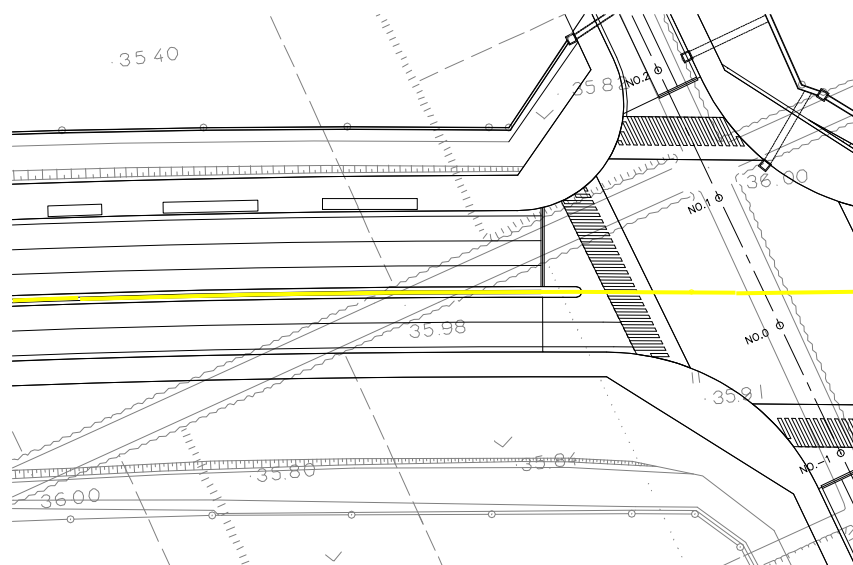
卷末資料

1. 完成平面図における地物作成仕様

1) 道路中心線

1. 地物定義 道路の設計段階等で用いられる中心線。
2. レイヤ名 C-BMK
3. 形状 線
4. 色 黄
5. 作図方法 道路の設計段階等で用いられる中心線の位置を線で取得する。既に管理段階におかれ、設計段階の中心線位置が不明である場合は、現存する道路の中央帯の中心、一方向道路または往復分離されていない道路においては車道部の中心を表す線を線データとして作成する。前後区間の道路代表線と連続性を確保するよう留意する。

《作図例》



6. 属性項目

	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

2) 距離標

- | | |
|---------|--|
| 1. 地物定義 | 道路管理者が道路の管理を行うにあたり、道路の付属物として路面上に一定間隔(1km または 0.1km 毎)で設置し、 起点からの距離を把握するために用いる標識。 |
| 2. レイヤ名 | C-BMK-BMKZ-KMPOST |
| 3. 形状 | 点(マーカコードは 5:square) |
| 4. 色 | 緑 |
| 5. 作成方法 | 設置中心位置を点データとして作成する。 |

《接頭文字について》

属性項目のうち「接頭文字」とは、「地点標設置指針・同解説(案)の送付について」(平成5年7月5日国道第一課交通安全事業係長事務連絡)によって規定された、距離程を識別するために付す文字を指す。バイパス等の整備により延長が長くなって補番が必要となる場合や、現道に対しバイパスの距離標を区分する場合などに距離標に記されるもので、前者の場合は「B」、後者の場合は「BP」と記す。

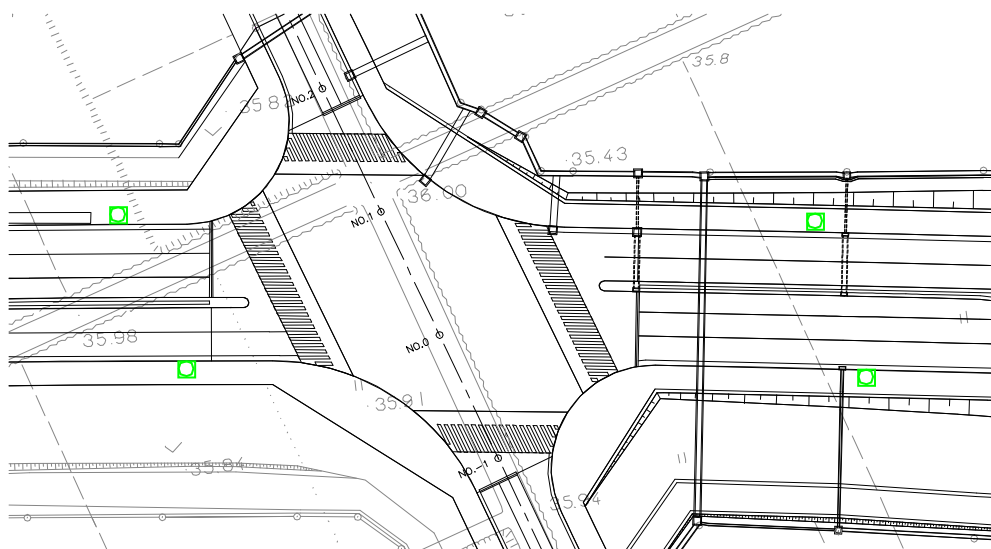
属性入力にあたっては、取得対象となる距離標にBまたはBPの記載がない場合は"1"、Bと記載されている場合は"2"、BPと記載されている場合は"3"として入力する。

《測点で代用する場合の属性入力について》

距離標を測点で代用する際には、下記の通りに属性入力を行う。

- ・「接頭文字」は、"1"を入力。(「なし」を選択)
- ・「距離程」は、測点に読み替えて追加距離を入力。(この場合、桁数は小数点以下2桁、単位 [km])
- ・「種別」は、"3"を入力。
- ・「経度」「緯度」は設計時に用いた座標値を変換した値を入力。
- ・「高さ」は設計時に用いた計画路面高を入力。

《作図例》



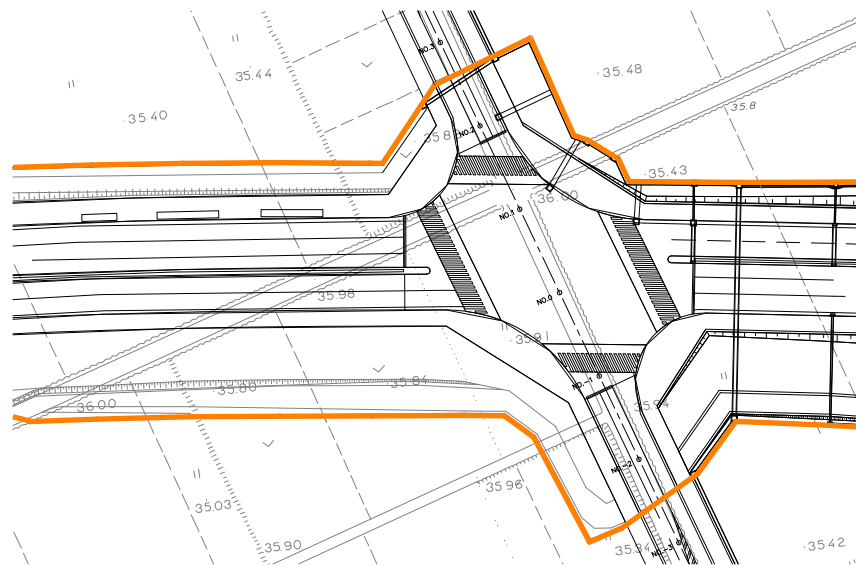
6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31
路線番号	距離標が設置されている路線の番号を記入する。	246
現旧区分	距離標が設置されている路線の現道, 旧道, 新道の区分を定義域より選択する。 【定義域】1=現道, 2=旧道, 3=新道	1
上下区分	距離標の用途の区分を定義域より選択する。 【定義域】0=上下線共通, 1=上り線, 2=下り線,	2
接頭文字	新道設置において用いる、距離標を識別するための接頭文字を定義域より選択する。 【定義域】1=なし, 2=B, 3=BP 《測点で代用する場合》 “1”と入力する。	3
距離程	起点からの距離程数値を実数値で記入する。 (小数点以下1桁、単位「km」) 《測点で代用する場合》 追加距離を記入する。(小数点以下2桁、単位「km」)	195.3
種別	距離標の種別を定義域より選択する。 【定義域】1=0.1kp, 2=1kp, 3=測点	1
経度	距離標の設置中心位置の経度を記入する。 小数点形式(DDD° . MM' SS" SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 《測点で代用する場合》 設計時に用いた座標値を変換した値を記入する。	140.09147463
緯度	距離標の設置中心位置の緯度を記入する。 小数点形式(DD° . MM' SS" SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 《測点で代用する場合》 設計時に用いた座標値を変換した値を記入する。	36.02416679
高さ	距離標の路面上の設置中心位置の高さ(T.P)を記入する。 現地計測しない(緯度・経度のみを持ち、高さのわからない)距離標の場合、“9999.999”として記入する。 (小数点以下3桁、単位「m」) 《測点で代用する場合》 設計時に用いた計画路面高を記入する。	37.150

3) 管理区域界

1. 地物定義 行政上の管理域の境界であり、他の土地または他管理者が管理する道路との境界。
2. レイヤ名 C-BMK-BMKZ-BOUNDARY
3. 形状 線
4. 色 橙
5. 作図方法 道路管理者が管理対象とする範囲の境界である「管理境界」を線データとして作成する。管理境界標の位置が明確である場合、それらをつなぐ線として線データを作成する。

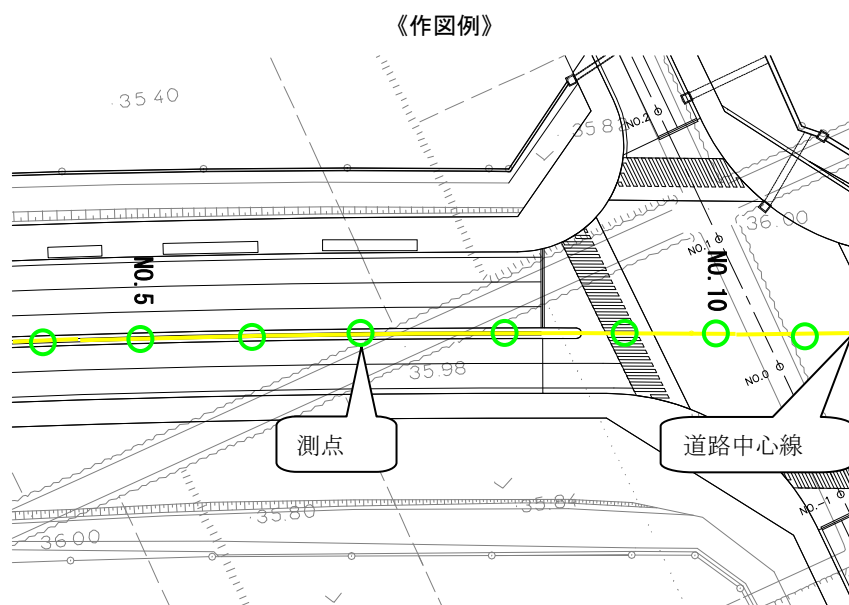
《作図例》



6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

4) 測点

1. 地物定義 道路の設計段階等で用いられる道路中心線上の点。
2. レイヤ名 C-BMK-BMKZ-STATION
3. 形状 点(マーカコードは 2:circle)
4. 色 緑
5. 作成方法 道路中心線上に点データとして作成する。



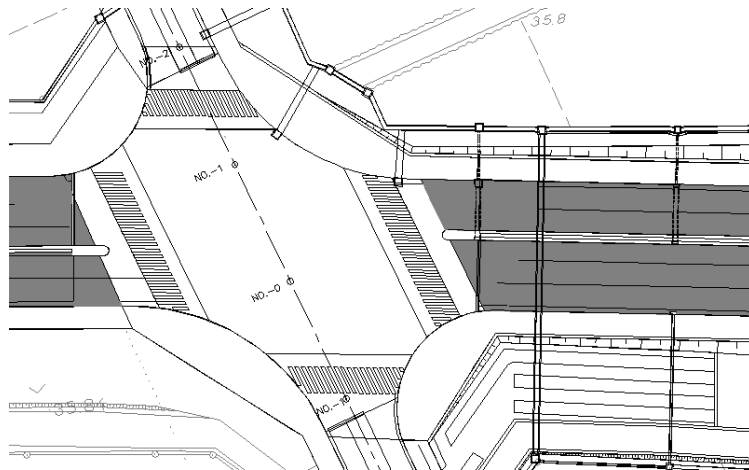
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31
測点番号		測点毎に付与される番号。完成平面図、完成縦断図に記載された測点番号の値を入力する。	10+00.000
追加距離		工事起点からの水平距離。完成縦断図に記載された追加距離を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	200.000
高さ		計画高位置における路面高さ(T.P.)。完成縦断図に記載された計画高(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	45.406
横断勾配(左)		工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値。完成縦断図に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	2.07
横断勾配(右)		工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値。完成縦断図に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	-1.75

5) 車道部

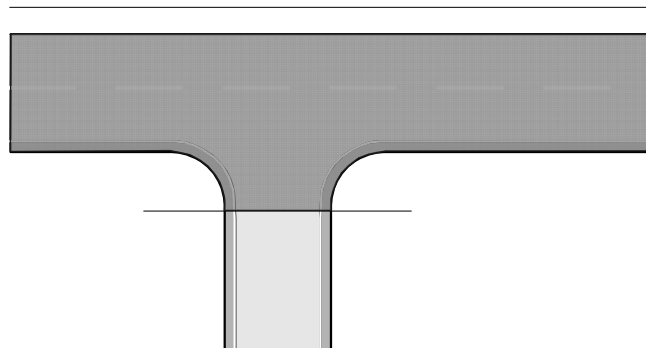
1. 地物定義 主として自動車を利用する道路の部分で、車線、すりつけ区間、分離帯が切断された車道の部分、側帯、路肩、停車帯、待避所、乗合自動車停車所、非常駐車帯、副道を含む。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-ROADWAY
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 路肩端、分離帯端、すみ切りの頂点を結ぶ線分によって囲まれる範囲を面データとして作成する。ただし、車道交差部、踏切道、軌道敷の部分を除く。

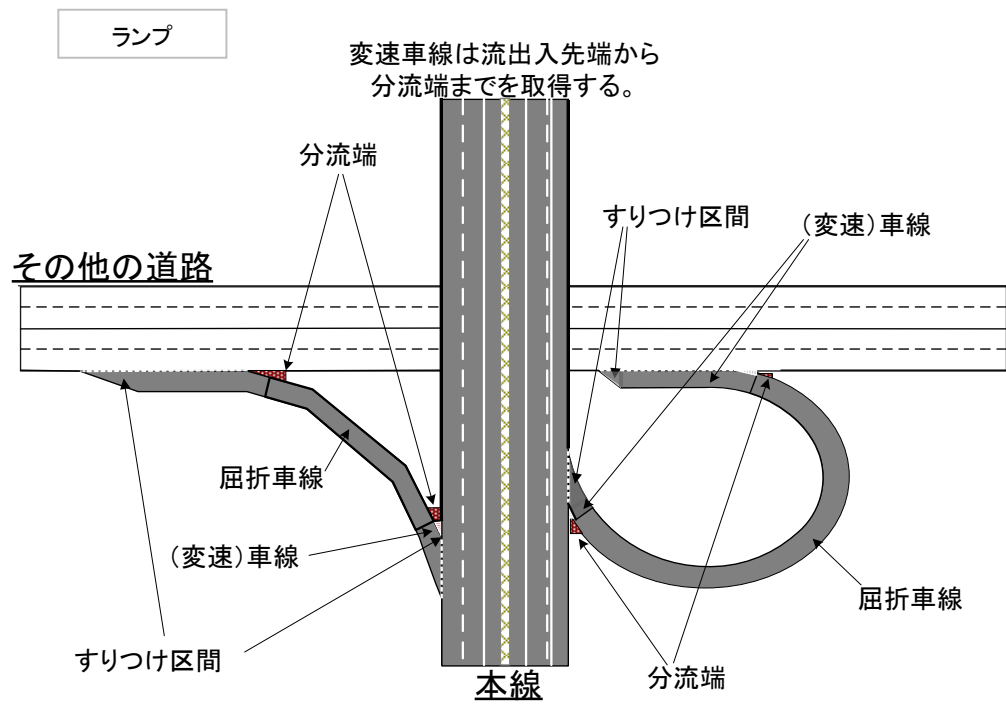
《作図例》

交差点



T字路





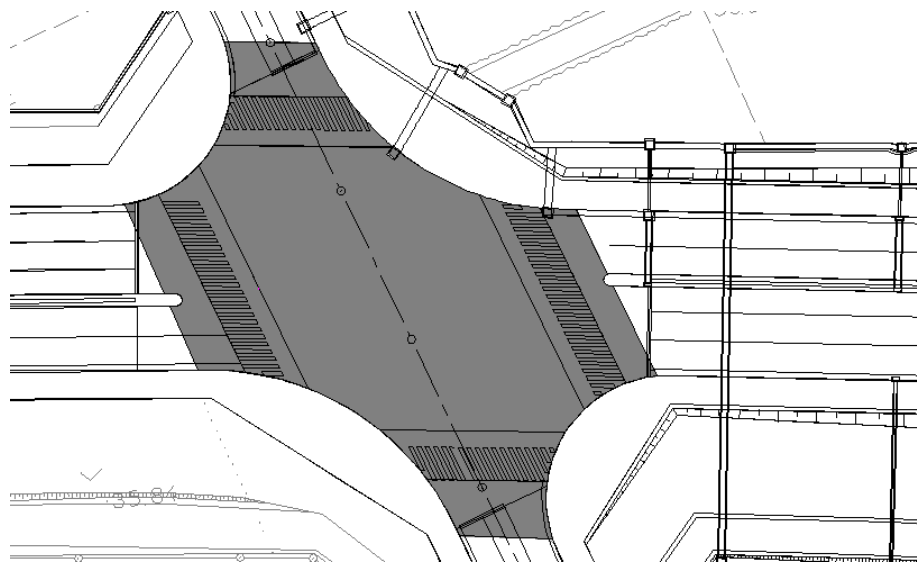
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	C050 舗装	○		
	C110 環境施設帯	○		

6) 車道交差部

1. 地物定義 十字路、丁字路その他2つ以上の車道が交わる部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CROSSING
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 すみ切りの頂点を結ぶ線分、路肩端、分離帯端を境界線として取得し、それによって囲まれた範囲のうち、他の道路と交差する範囲を面データとして作成する。

《作図例》



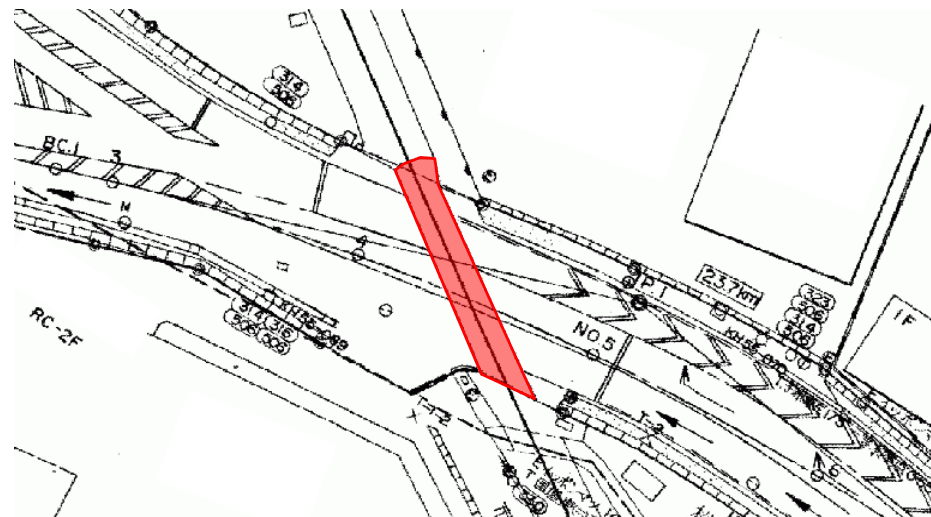
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C060	道路交差点	○	○	○

7) 踏切道

1. 地物定義 鉄道と交差する道路の部分で、道路と鉄道敷地の境界線によって構成される部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-RAILROADCROSS
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 道路と鉄道敷地の境界線を取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



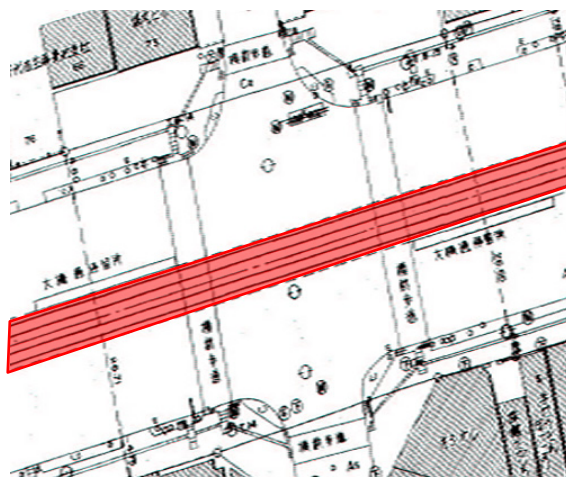
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C070	鉄道交差点	○		○

8) 軌道敷

1. 地物定義 路面電車が走行する道路の部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-TRAMAREA
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 軌道敷の境界線を取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



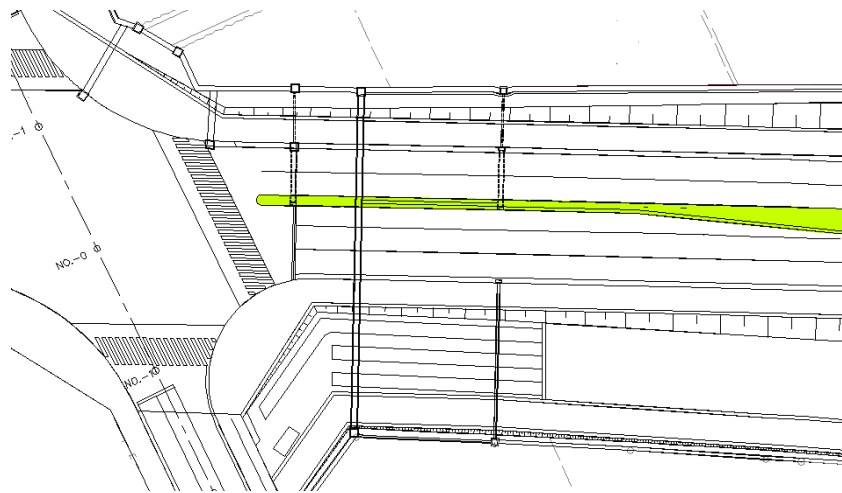
6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

9) 島

1. 地物定義 車両の走行を制御し、安全な交通を確保するために設置される分離帯及び交通島の部分。
ただし、路面電車停留所の部分は除く。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-ISLAND
3. 形状 面
4. 色 黄緑
5. 作図方法 道路の中で、工作物(マウントアップ、縁石等)で明確に分離されている部分のうち、歩道部、植栽、路面電車停留所以外の部分の外周を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



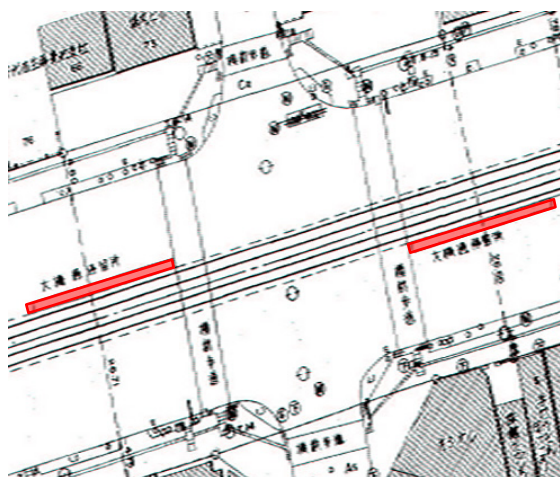
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	C100 中央帯	○		
	C110 環境施設帯	○		

10) 路面電車停留所

1. 地物定義 路面電車の乗降、待合のための停留場として利用される島状の道路の部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-TRAMSTOP
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 安全島のうち、路面電車停留所として利用されているものの外周を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》

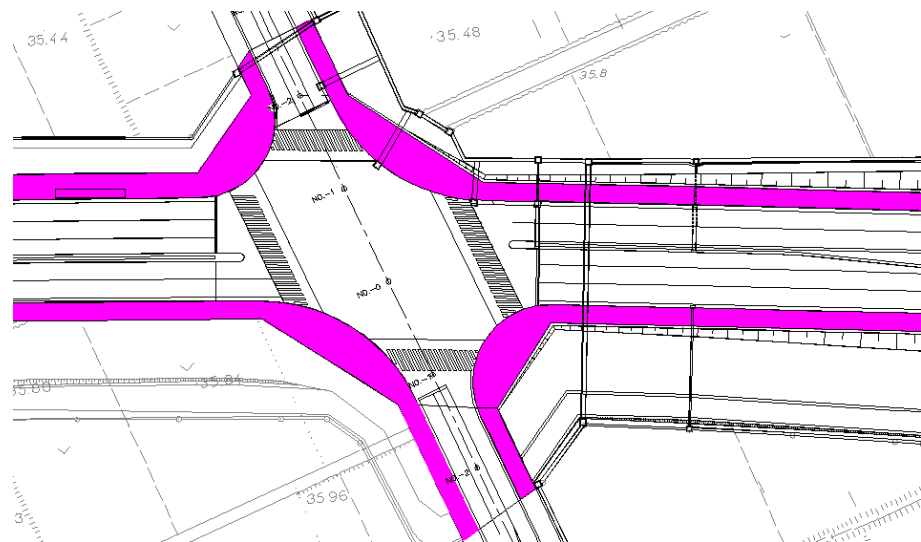


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

11) 歩道部

1. 地物定義 専ら歩行者と自転車の通行に供するため、工作物によって車道部と区画して設けられる道路の部分で、自転車道、自転車歩行者道、歩道を含む。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SIDEWALK
3. 形状 面
4. 色 桃
5. 作図方法 以下に示す範囲を面データとして作成する。
 - ① 縁石の車道側の境界線と歩道部端によって構成される範囲(歩道部が車道面よりも高いマウントアップ型)
 - ② 縁石や柵・壁の歩道部側の境界線(ただし下端線)と歩道部端によって構成される範囲(歩道部面と車道面を同一の高さとしたフラット型)
 - ③ 構造上、歩行者と自転車の通行に供する部分

《作図例》



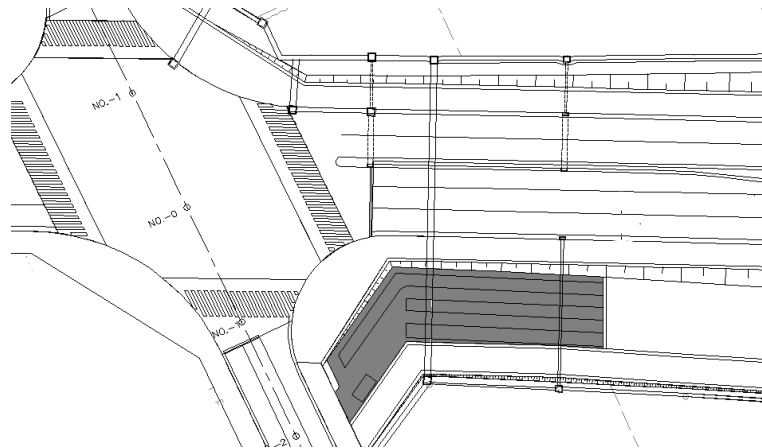
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	C050 舗装	○		
	C080 歩道及び自転車歩行者道	○		
	C090 独立専用自歩道	○		
	C110 環境施設帯	○		

12) 自転車駐車場

1. 地物定義 道路に接する自転車駐車場で、道路管理者が設置し管理するもの。
自転車駐車場の駐車区画・通路の部分により構成される。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BICYCLEPARK
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 自転車駐車場を構成する駐車区画・通路の外周と、出入口を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》

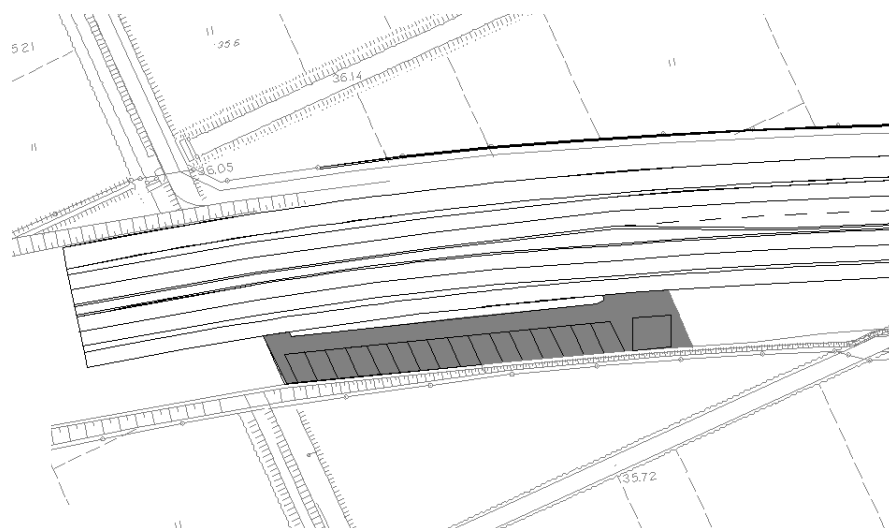


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	E140	自転車駐車場	○	○

13) 自動車駐車場

1. 地物定義 自動車駐車場で、道路に接して道路管理者が設置し管理するもの。
自動車駐車場の駐車区画・車路の部分を含む。(進入接続路は含まない。)
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CARPARK
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 自動車駐車場を構成する駐車区画・車路の外周と、駐車場への進入接続路との境界線(出入口)を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》

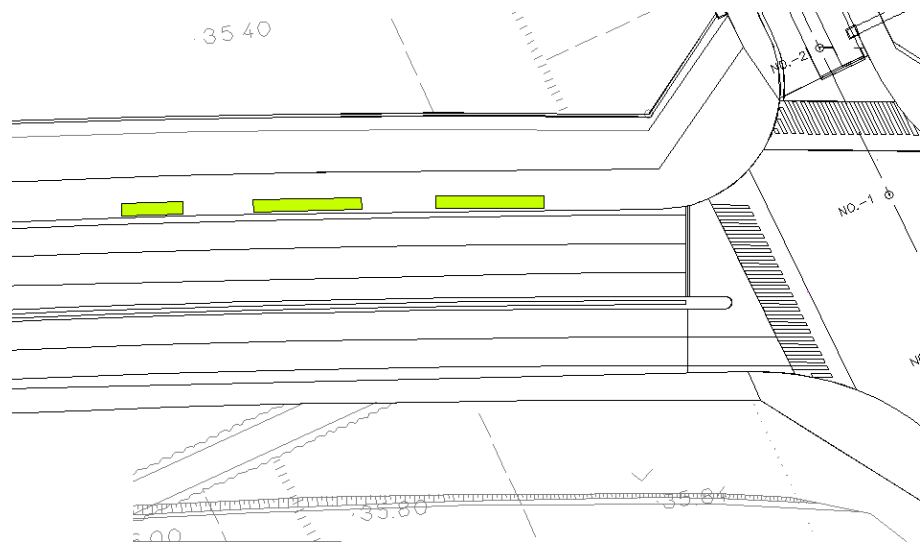


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	E130	自動車駐車場	○	○

14) 植栽

1. 地物定義 樹木を植栽するために工作物によって区画して設けられる道路の部分のうち、歩道部に設置される植樹帯、及び歩道内に街路樹(並木)を植栽するための柵の部分(島に設置される植樹は含まない)。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-PLANT
3. 形状 面
4. 色 黄緑
5. 作図方法 植栽の外周となる境界線を取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



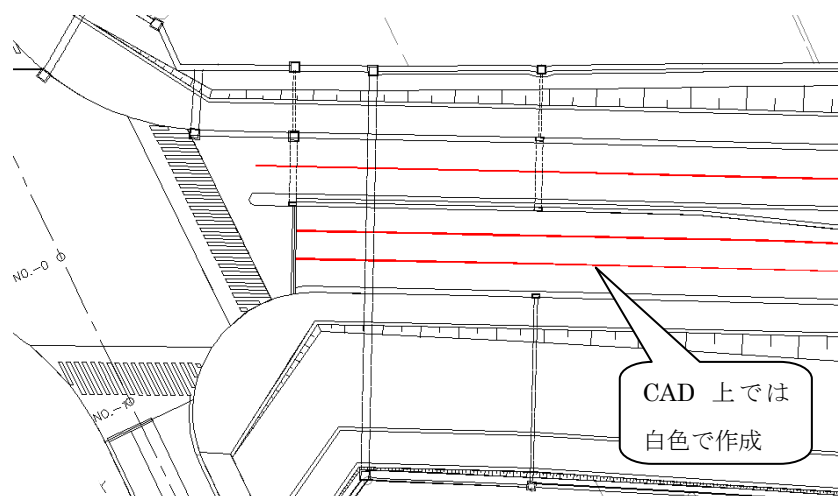
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
E230	植栽	○	○	○
C110	環境施設帯	○		

15) 区画線

1. 地物定義 車線(すりつけ部を含む)の境界を明示するための路面標示。
路面標示のうち、道路中央線、車線境界線、車道外側線によって構成される。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-LINE
3. 形状 線
4. 色 白
5. 作図方法 道路中央線、車線境界線、車道外側線のマーキングの中心を線データとして作成する。

《作図例》



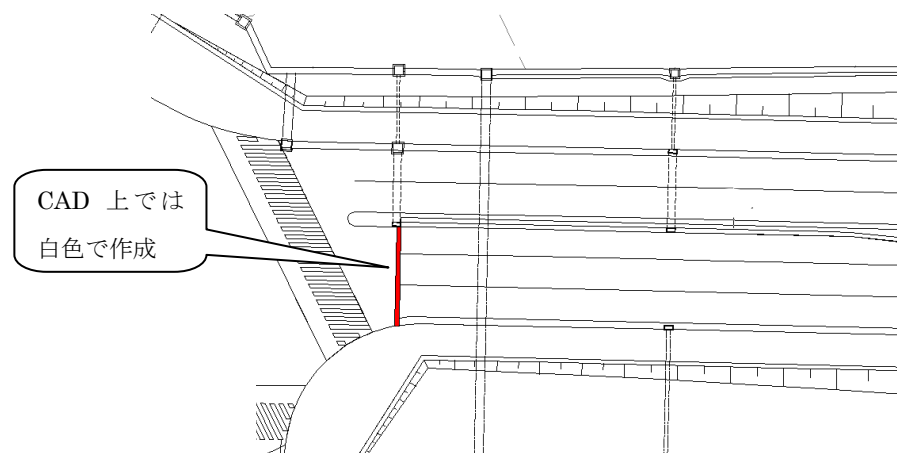
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C050	舗装	○		

16) 停止線

1. 地物定義 停止線を明示する路面標示。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-STOPLINE
3. 形状 線
4. 色 白
5. 作図方法 停止線(二段停止線を含む)のマーキングの中心を線データとして作成する。

《作図例》



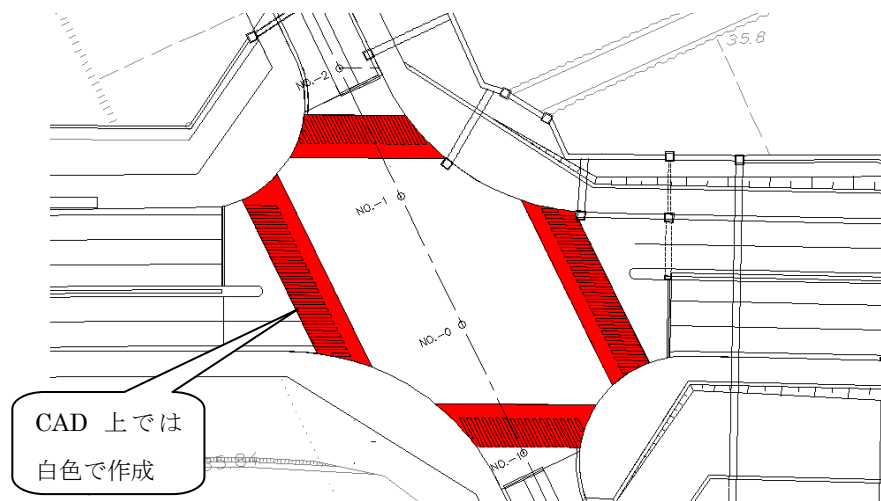
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C050	舗装	○		

17) 横断歩道

1. 地物定義 車道部のうち、主に交差点付近で歩行者が横断するために路面標示で区分された部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CROSSWALK
3. 形状 面
4. 色 白
5. 作図方法 横断歩道を表す路面標示の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。
自転車横断帯が隣接している場合は、それも含めた範囲として作成する。
斜め横断可(スクランブル横断歩道)の場合も同様に作成するが、時間を限定して行われる交差点で交差点中央部に路面標示が無い場合は、路面標示がある範囲のみを面データとして作成する。

《作図例》



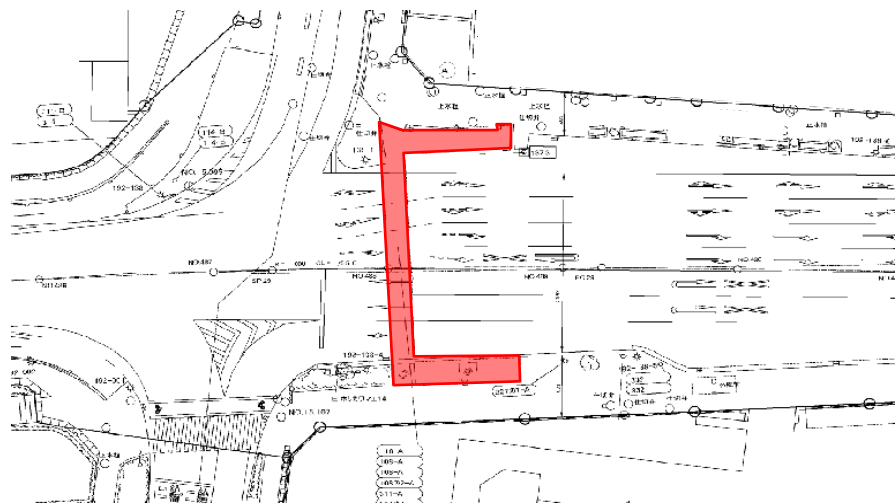
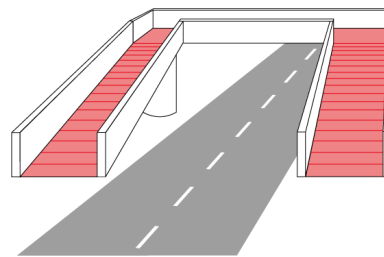
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C050	舗装	○		

18) 横断歩道橋

1. 地物定義 車道を横断する歩行者を車道から分離するための橋梁状の施設。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-PEDESTRIANBRIDGE
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 歩行者の通行に供される部分(階段、斜路、エレベータ、エスカレータ、踊り場を含む)を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。ループ式の階段等が設置されている場合は、その部分を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を含める。

《作図例》

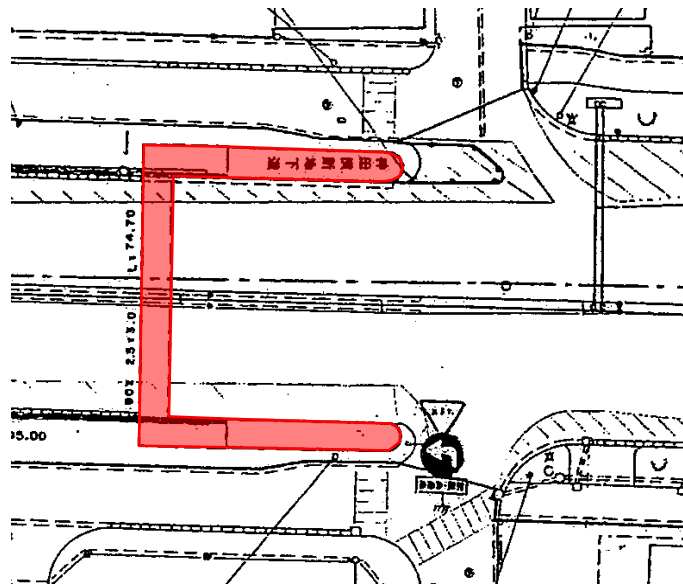


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	D030	横断歩道橋	○	○

19) 地下横断歩道

1. 地物定義 車道を横断する歩行者を車道から分離するための道路横断施設。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-UNDERPASSWALK
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 歩行者の通行に供される部分(階段、斜路、踊り場を含む)を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



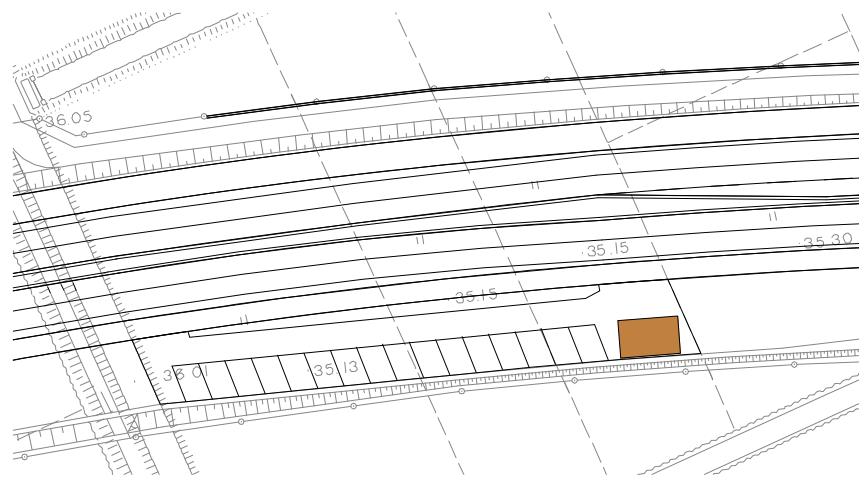
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D070	地下横断歩道	○	○	○

20) 建築物

1. 地物定義 道路管理者が設け管理している建築物及び地下鉄等の入口のための出入口、庁舎・観測施設・通信施設などの建築物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BUILDING
3. 形状 面
4. 色 茶
5. 作図方法 建築物の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



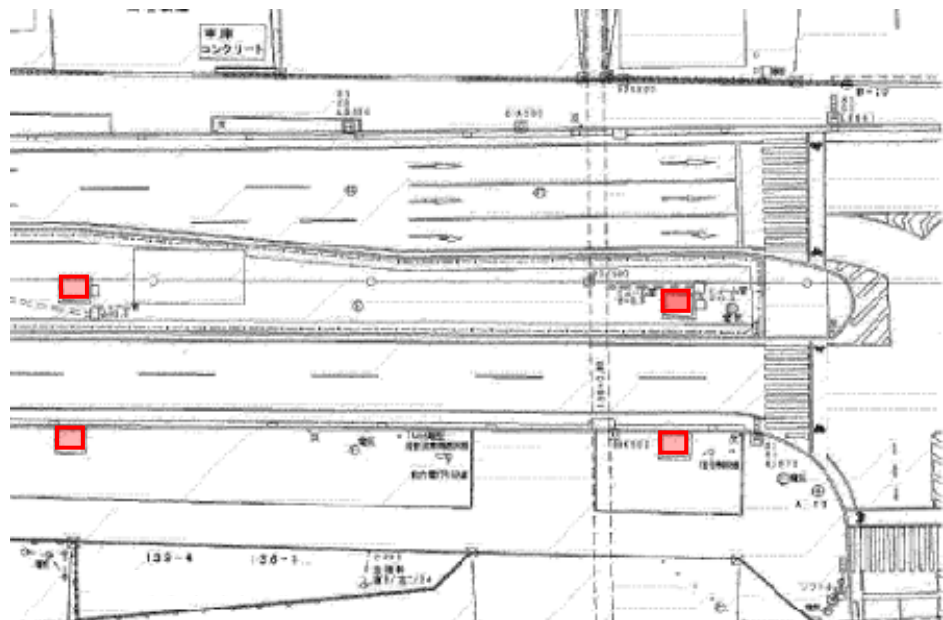
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
E190	除雪ステーション	○		○

21) 橋脚

1. 地物定義 道路上の空間を占有している当該道路以外の構造物を支える橋脚。
道路が立体構造となっている場合に当該道路に接続するランプの橋脚がある場合には、それも含むが橋台は含まない。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-PIER
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 橋脚の接地部分の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》

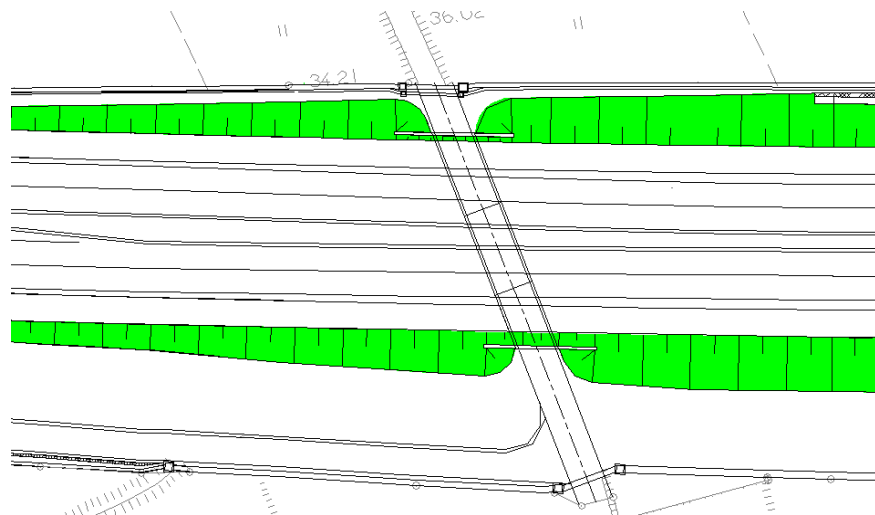
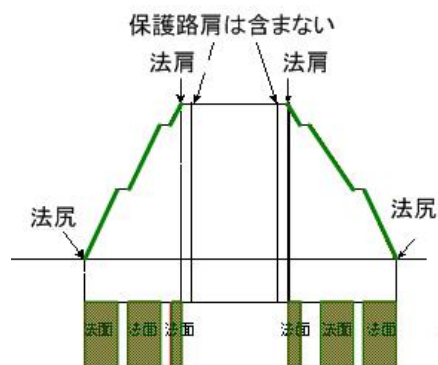


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

22) 盛土法面

1. 地物定義 盛土でできた人工的な斜面のうち、保護路肩や小段を除いた部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BANK
3. 形状 面
4. 色 緑
5. 作図方法 法肩線及び法尻線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



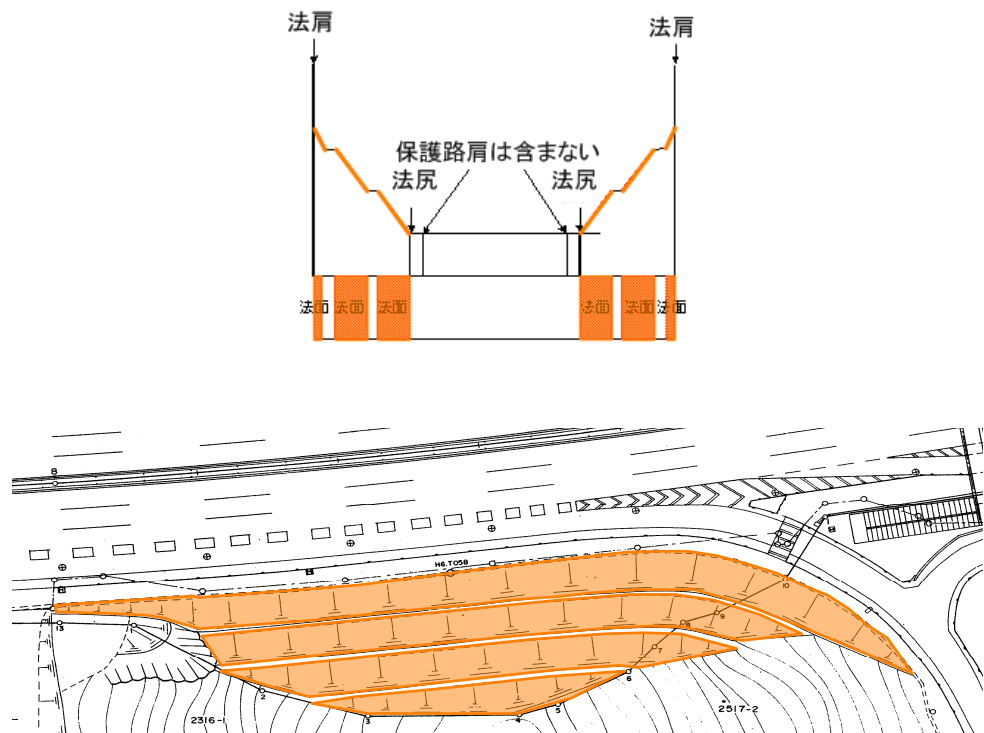
6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

23) 切土法面

1. 地物定義 切取りでできた人工的な斜面のうち、保護路肩や小段を除いた部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CUT
3. 形状 面
4. 色 橙
5. 作図方法 法肩線及び法尻線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



6. 属性項目

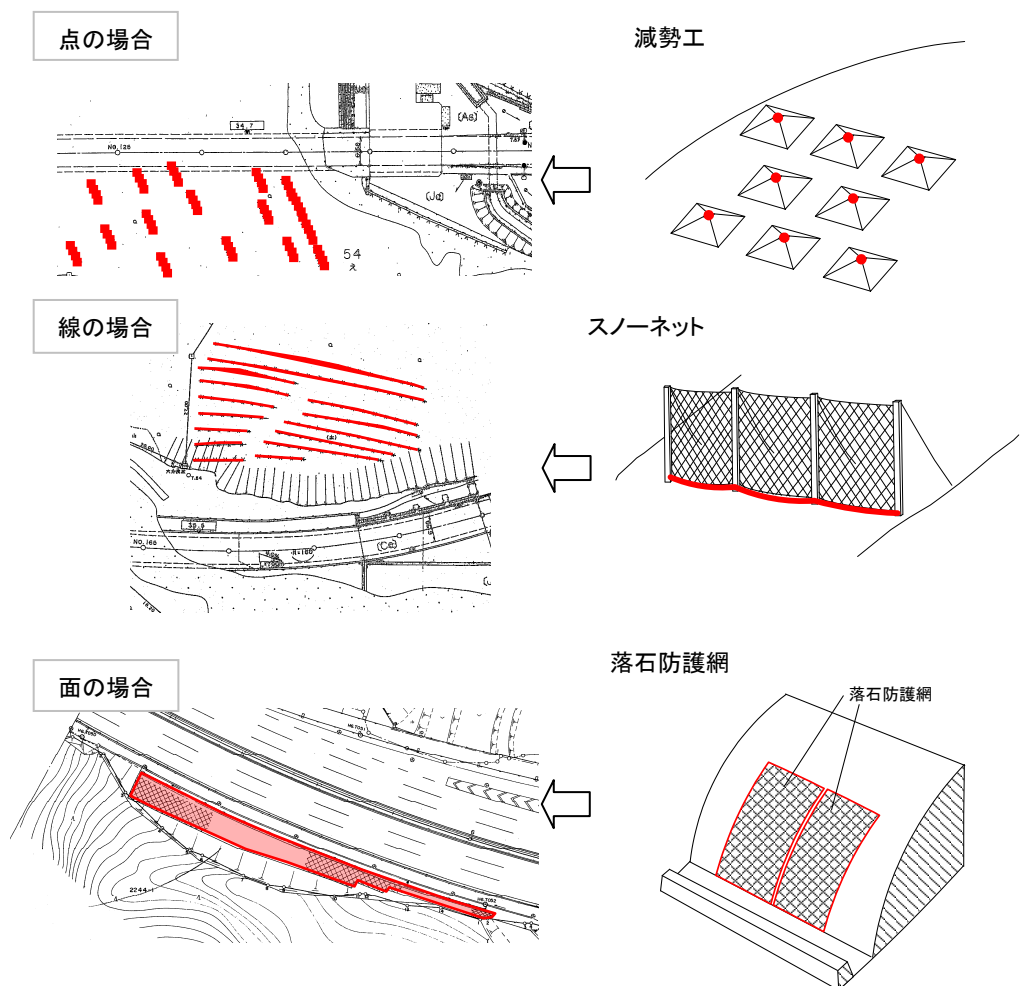
【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

24) 斜面对策工

1. 地物定義 自然斜面や法面の崩壊を防ぐために設置される施設
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SLOPE
3. 形状 点(マーカコードは 5:square)
線
面
4. 色 赤
5. 作図方法 予防杭、吊柱、減勢工、ロックボルト工、ロックアンカー工は中心位置を点データとして作成する。スノーネットは中心線を線データとして作成する。誘導工、根固め工、落石防護網は構造物の外周を面データとして作成する。

《作図例》

《主な工種》

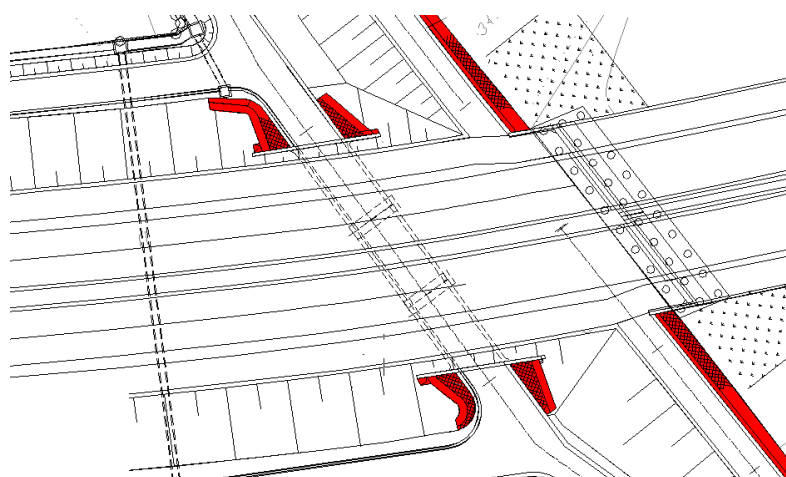


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

25) 擁壁

1. 地物定義 土砂の崩壊を防ぐための壁体構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-WALL
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 擁壁を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



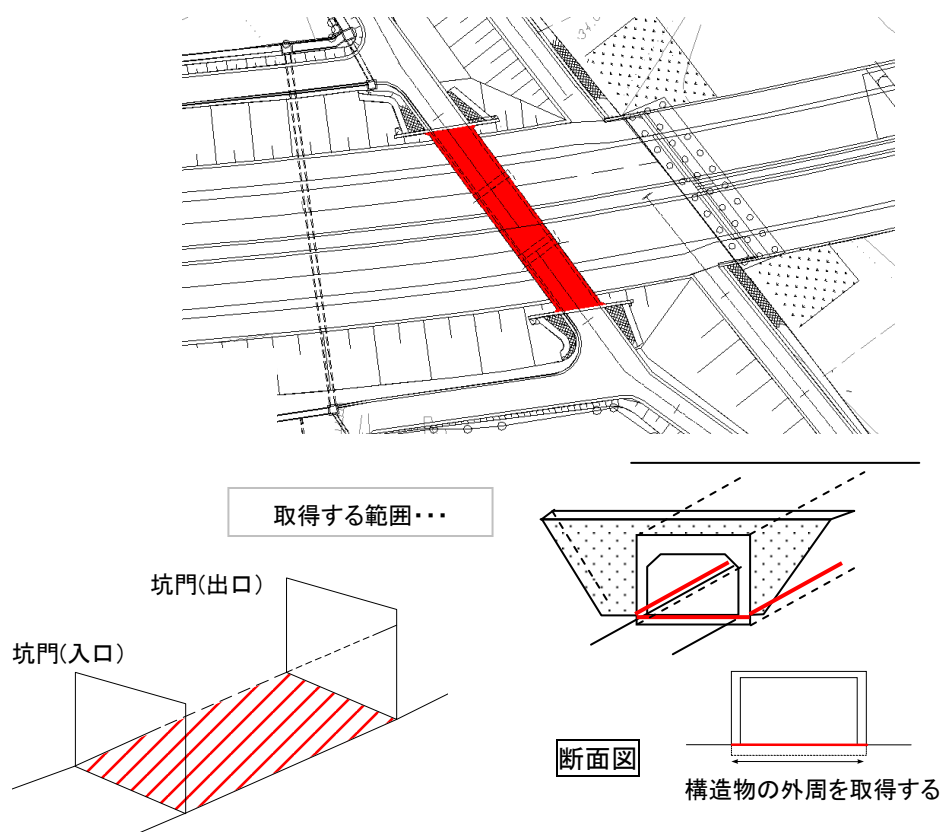
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D120	擁壁	○	○	○

26) ボックスカルバート

1. 地物定義 他の道路等の下方を横断する際、その盛土の中を横断する形で設置される箱状の構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BOX
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 カルバートを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



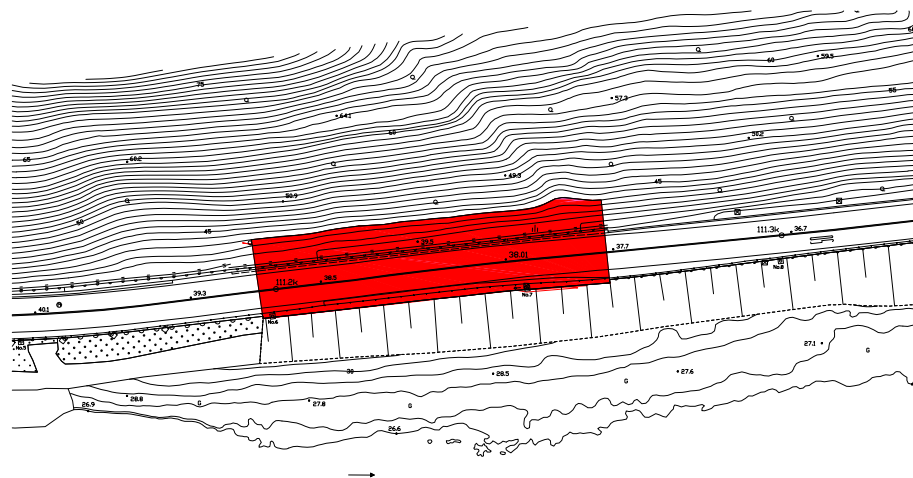
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D090	横断 BOX	○	○	○

27) シェッド

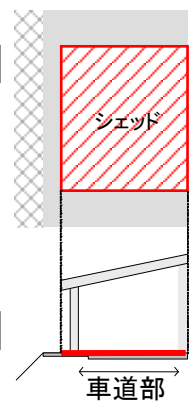
1. 地物定義 落石および雪崩を路面に直接落下させず、道路を越えて転進させるために、鋼材やコンクリート材などで道路を覆う構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SHED
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 シェッドを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



取得する範囲・・・

平面図



断面図

車道部

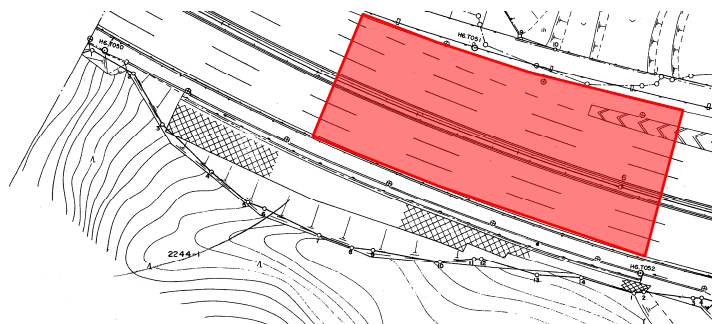
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D050	洞門	○	○	○
D060	スノーシェッド	○	○	○

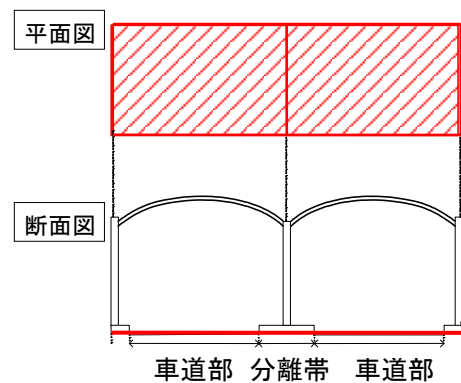
28) シェルター

1. 地物定義 アーチ型または門型の道路を完全に覆ったトンネルのような構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SHELTER
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 シェルターを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



取得する範囲…

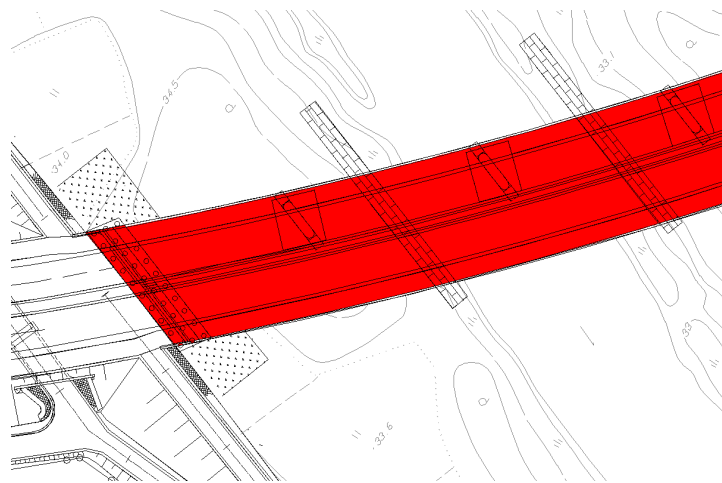


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

29) 橋梁

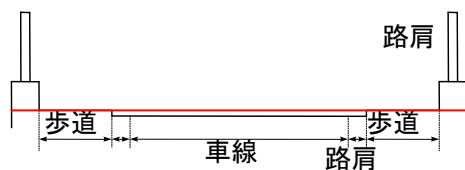
1. 地物定義 道路において、交通の障害となる河川、溪谷、湖沼、海峡、鉄道、水路、他の道路などの上方にこれを横断するために建設される構造物の総称。市街地において効率的な土地利用の観点から、道路上あるいは河川上の空間に連続して建設される高架橋も橋梁の一形態である。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BRIDGE
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 橋梁の上部工を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》

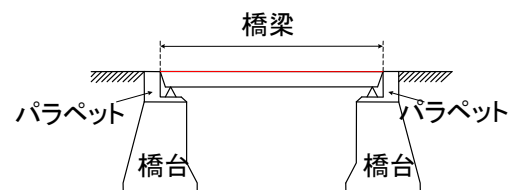


取得する範囲…

断面図



側面図



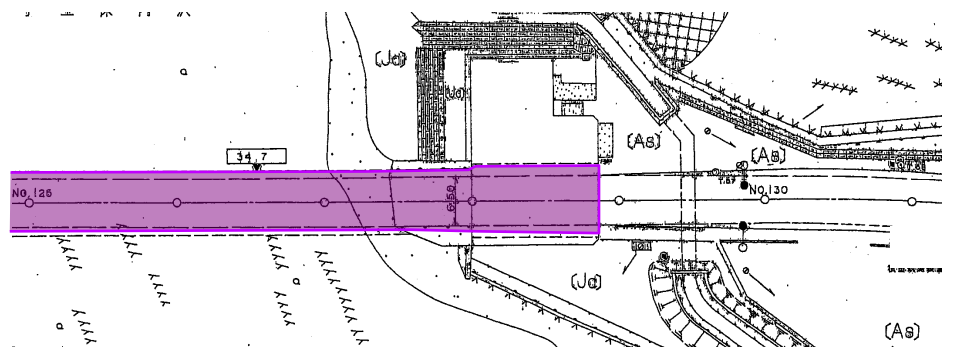
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D010	橋梁	○	○	○
D020	橋側歩道橋	○	○	○

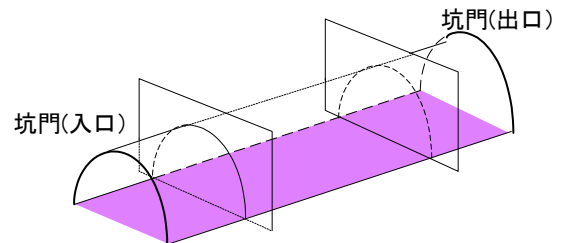
30) トンネル

1. 地物定義 上部を含め周辺が地山や他の構造物で覆われており、交通、輸送等の用に供する構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-TUNNEL
3. 形状 面
4. 色 紫
5. 作図方法 坑口から坑口までのトンネルを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

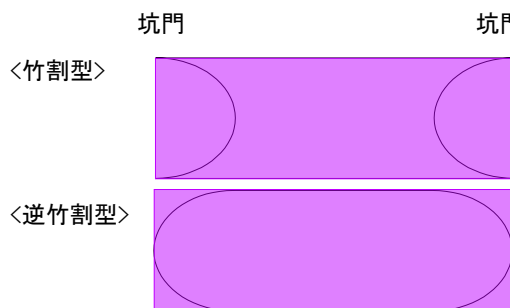
《作図例》



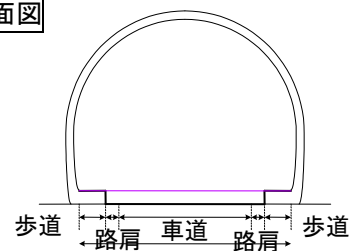
取得する範囲



上面図



断面図



内空が地表面と接している幅を取得する

6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D040	トンネル	○	○	○

2. SXF Ver. 2.0 による完成平面図の作成方法

1. SXF Ver. 3.x との相違点

本巻末資料は SXF Ver.3.x との相違点のみを規定したものである。したがって、本巻末資料に記載していない項目については、本編を参照のこと。

本編の記載項目と本巻末資料の記載項目との対応関係を表 1に示す。

表 1 SXF Ver. 2.0 で完成平面図を作成する場合における本巻末資料の参照箇所

本編の目次構成 (本編 Ⅲ. 電子納品編 1、3)	本巻末資料を参照する箇所 (記載項目)
1. 完成平面図	—
1-1. 趣旨	—
1-2. データ作成	1.、2.
1) ファイル形式	—
2) ファイル単位	—
3) 部分図の利用	—
4) 座標設定	—
5) 取得対象項目	—
6) 図形データ作成	2-1
7) レイヤ分類	2-2
8) 図形データの単位	—
9) 属性入力	2-3
10) 距離標の取得	1.、2-1～2-3
11) 測点の取得	1.、2-1～2-3
12) 地形情報	2-4
13) 図面様式	2-5
1-3. データ貸与と請負者の作業	—
4. 電子成果品としての整理方法	—
4-1. 成果品項目	3.
4-2. 図面管理ファイル	—
4-4. 完成平面図ファイル命名規則	4.
4-7. 格納フォルダ	5.
6. 電子納品時の確認方法	6.

SXF Ver.2.0 による完成平面図の作成方法には、SXF Ver.3.x と比べて以下の相違点がある。
 なお、本巻末資料では、SXF Ver.3.x と SXF Ver.2.0 の相違点を **青字** で記す。

- ・ 距離標および測点以外の地物は、属性入力を行わない。*1
- ・ 距離標および測点の属性データを別途 CSV 形式*2 で作成するとともに、CAD 上の距離標および測点の点データおよび属性データと対応付けるため、点データに地物コードを配置する（図1参照）。
- ・ ラスタ形式の地形図を利用する際、ラスタ形式の地形図の図枠の作成およびファイル名コードの配置を行う。

*1：距離標および測点以外の地物項目については、工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の「工事件名等－工期終了日」から“設置日”が推定できるため、暫定的に属性を入力しないこととした。

2：CSV形式は、データをカンマ(",")で区切って並べたテキストファイルであり、表計算ソフト等で保存する際、ファイル形式に「CSV（カンマ区切り）(.CSV)」を選択することで作成される。通常、CSVファイルを表計算ソフトで開くと、カンマ区切り位置でセルに分割されて表示され、テキストエディタで開くと、カンマが表示される。

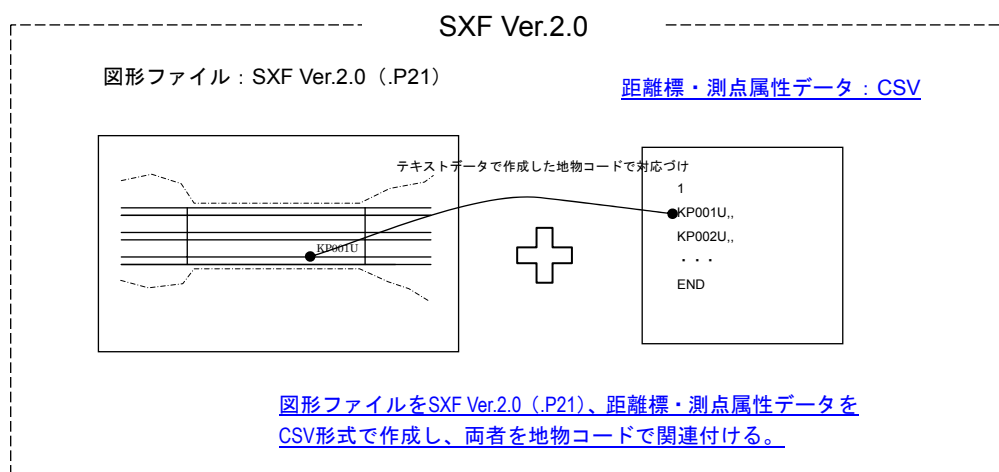


図1 SXF Ver.2.0 のファイル構成（イメージ）

2. 作成方法

2-1. 図形データの作成

SXF Ver.2.0 で完成平面図を作成する場合、属性データを入力するのは距離標および測点とし、距離標および測点の点データ上に地物コードを配置して CSV ファイルで作成した属性データと関連付ける。

なお、地物コードの配置にあたっては、配置基点を基に対応する距離標および測点の点データを抽出するため、配置基点と点データの位置（座標）とを一致させる必要がある。

表 2 距離標および測点のデータ作成方法の違い

	SXF Ver.3.0	SXF Ver.2.0
距離標データ	<p>点データに属性データが組み込まれる</p> <p>点マーカ (□印で表示)</p>	<p>地物コードで CSV ファイルの属性データと関連付ける</p> <p>点マーカ (□印で表示)</p> <p>KP001C 配置基点: 左下</p> <p><u>点データと同一座標に、地物を識別する地物コードを作成。配置基点を点データの位置と一致させる。</u></p>
測点データ	<p>点データに属性データが組み込まれる</p> <p>点マーカ (○印で表示)</p>	<p>地物コード（測点番号）で CSV ファイルの属性データと関連付ける</p> <p>点マーカ (○印で表示)</p> <p>5+20.000 配置基点: 左下</p> <p><u>点データと同一座標に、地物を識別する地物コード（測点番号）を作成。配置基点を点データの位置と一致させる。地物コード（測点番号）は、図面上に重複する番号が存在することなく一意に定義する。</u></p>

距離標および測点の地物コードの作成ルールを以下に示す。

【距離標データの作成ルール】

- 距離標の地物コードは、「KP」 “3桁の通し番号(001～)” “上下区分(上下線共通: C, 上り線:U, 下り線: D)” を半角で記述する。なお、測点情報を用いて距離標地物を作成する場合、“KP” に換えて“NO” を表示する。

【測点データの作成ルール】

- 道路中心線上の測点の地物コードは、完成縦断図に記載された測点番号を基に、「測点番号」+「追加距離」を半角で記述する。記述する測点番号（「測点番号」+「追加距離」）は、CSV ファイルで作成した属性データと関連付けるため、重複することなく一意に定義する。なお、インターチェンジのランプ等において、測点番号が重複する場合、測点番号の前にランプ名称を付記する等の措置により、測点番号を差別化する。例えば、ランプ名称が“A”、測点番号が“2”、追加距離が“5.252”の場合は、“A2+5.252”と入力する。

【距離標データ・測点データ共通の作成ルール】

- ・ 地物コードの配置基点は、縦方向は底辺、横方向は左に合わせる（左下：通常 SXF (.P21) でデフォルトに設定される位置）。
- ・ 地物コードを配置する際には、テキストのマージンの設定を“0”とする。
- ・ 地物コードは、1/1000 等で印刷する際の見かけ高さが 3mm 程度になるよう設定する。
- ・ 縦書き文字の使用，文字の回転等を行わない。

また、SXF 形式で保存した際に地物コードの文字と図形が重なり、見づらくなることもある。この場合においても、距離標および測点の属性データが配置基点と関連付けられているため、配置基点を自動調整しないように CAD ソフトの設定を“補正しない”および“調整しない”等とし、誤って配置基点を移動させてはならない。

2-2. レイヤ分類

本要領に従い作成した地物データは、表 3 の太枠で囲んだレイヤに格納する。特に 9 種類の道路面地物データにおいては、本編「6) 図形データ作成」に従い、隣接する面データの境界一致が必要である。

また、その他のデータについては「CAD 製図基準 (案)」に従いその他のレイヤに格納する。

なお、SXF Ver.2.0 により完成平面図を作成する場合、「距離標」を格納するレイヤには、属性情報を図形情報と対応付けるための「地物コード」を追加し、「ラスタ化された地図」を格納するレイヤには、地形図を配置するための図枠および「ファイル名コード」を追加する。

表 3 SXF Ver.2.0 のレイヤ分類一覧表

分類	図形名称	レイヤ名	図形要素				着色	備考	
			面	線	点	その他 (文字列、 ラスタ)			
本 要 領 で 規 定 し た 地 物 を 格 納 す る レ イ ヤ	道路中心線	C-BMK		●			黄		
	距離標	C-BMK-BMKZ-KMPOST			●	●	緑	距離標の地物コードを追加	
	管理区域界	C-BMK-BMKZ-BOUNDARY		●			橙		
	測点	C-BMK-BMKZ-STATION			●	●	緑	距離標の地物コード(測点番号)を追加	
	道路 面 地 物	車道部	C-STR-STRZ-ROADWAY	●				暗灰	道路面を構成する地物 (隣接する面データの境界 形状一致が必要)
		車道交差部	C-STR-STRZ-CROSSING	●				暗灰	
		踏切道	C-STR-STRZ-RAILROADCROSS	●				赤	
		軌道敷	C-STR-STRZ-TRAMAREA	●				赤	
		島	C-STR-STRZ-ISLAND	●				黄緑	
		路面電車停留所	C-STR-STRZ-TRAMSTOP	●				赤	
		歩道部	C-STR-STRZ-SIDEWALK	●				桃	
		自転車駐り場	C-STR-STRZ-BICYCLEPARK	●				暗灰	
		自動車駐り場	C-STR-STRZ-CARPARK	●				暗灰	
	植栽	C-STR-STRZ-PLANT	●				黄緑	道路面以外を構成する地 物 (隣接面データの形状一致 は必要としない)	
	区画線	C-STR-STRZ-LINE		●			白		
	停止線	C-STR-STRZ-STOPLINE		●			白		
	横断歩道	C-STR-STRZ-CROSSWALK	●				白		
	横断歩道橋	C-STR-STRZ-PEDESTRIANBRIDGE	●				赤		
	地下横断歩道	C-STR-STRZ-UNDERPASSWALK	●				赤		
	建築物	C-STR-STRZ-BUILDING	●				茶		
	橋脚	C-STR-STRZ-PIER	●				赤		
	盛土法面	C-STR-STRZ-BANK	●				緑		
	切土法面	C-STR-STRZ-CUT	●				橙		
	斜面対策工	C-STR-STRZ-SLOPE	●	●	●		赤		
	擁壁	C-STR-STRZ-WALL	●				赤		
	ボックスカルバート	C-STR-STRZ-BOX	●				赤		
	シェッド	C-STR-STRZ-SHED	●				赤		
	シェルター	C-STR-STRZ-SHELTER	●				赤		
橋梁	C-STR-STRZ-BRIDGE	●				赤			
トンネル	C-STR-STRZ-TUNNEL	●				紫			
そ の 他 の レ イ ヤ	外枠	C-TTL				●		図面表記用 (図枠、表題欄、地形図)	
	タイトル枠	C-TTL-FRAM				●			
	区切り線、罫線	C-TTL-LINE				●			
	文字列	C-TTL-TXT				●			
	現況地物	C-BGD				●			
	等高線の計曲線	C-BGD-HICN				●			
	等高線の主曲線	C-BGD-LWCN				●			
	主な横断構造物	C-BGD-CRST				●			
	ラスタ化された地図	C-BGD-RSTR				●			
	特に明示すべき現況地物	C-BGD-EXST				●			
	文字列	C-BGD-TXT				●			
	旗上げ	C-BGD-HTXT				●			
	基準となる点(測量ポイント)	C-BMK-SRVR				●			
	用地境界(幅杭)	C-BMK-ROW				●			
	文字列	C-BMK-TXT				●			
	旗上げ	C-BMK-HTXT				●			
	主構造物外形線	C-STR				●			
	構造物1(橋梁)	C-STR-STR1				●			
	構造物2(トンネル)	C-STR-STR2				●			
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		
	旗上げ	C-STR-HTXT				●			●:ラスタ形式の地形図を 利用する場合、図枠とファ イル名コードを追加
	文章(説明、指示、参照事項等)	C-DOC				●			
	地形図等の改変しない測量成果データ	C-SUV			●	●			

凡例：●：SXF Ver. 3. xで規定、●：SXF Ver. 2. 0用に新たに追加

2-3. 属性入力

SXF Ver.2.0 で完成平面図を作成する場合、距離標および測点の属性を別途 CSV 形式で作成するものとし、距離標および測点以外の地物項目については属性を入力しなくてよい。なお、CSV ファイルの作成には、道路工事完成図等作成支援サイト (<http://www.nilim-cdrw.jp/>) より提供される「距離標・測点属性入力支援ツール」(Excel ファイル) を利用すること。

距離標および測点の属性項目の入力内容は、SXF Ver.3.x と同様とする。また、図2に示すように SXF Ver.2.0 の属性データの作成では、一つの距離標または測点に対して1行で属性を入力するものとする。

地物コード	KP001C, 2009 3 31, 246, 1, 3, 1, 195. 3, 1, 140. 09147463, 36. 02416679, 37. 150	} 距離標の属性値
	KP002C, 2009 3 31, 246, 1, 3, 1, 195. 4, 1, 140. 06391474, 36. 07924166, 37. 130	
	⋮	
地物コード(測点番号)	1+00. 000, 2009 3 31, 1+00. 000, 20. 000, 10. 255, 1. 75, 2. 07	} 測点の属性値
	2+00. 000, 2009 3 31, 2+00. 000, 40. 000, 10. 155, 2. 09, 2. 57	
	⋮	

1地物に対し、1行で属性を入力し、地物コード、属性項目毎に、“,”で区切って記述する。

図 2 CSV データ(イメージ)

2-4. 地形情報

SXF Ver.2.0 でラスタ形式の地形図を利用する場合には、位置座標を管理するために、図枠の作成およびファイル名コードの配置が必要である。

図枠を自動生成しない CAD ソフトを用いている場合には、図3に示すようにラスタ形式の地形図の図枠を C-SUV レイヤ上に作成し、そのラスタ地形図のファイル名コードを図枠内に配置する。なお、図枠は連続した線分で作成するものとし、線分の起点および終点をラスタ形式の地形図の左下点と一致させるものとする。

図枠の自動生成機能については、各 CAD ソフトのマニュアル等を参照されたい。



図3 図枠作成およびファイル名コードの配置

また、発注図の平面図（ラスタ形式の地形図）が複数に分割されている場合は、CAD ソフトの機能によらず、図面毎に図枠を作成してファイル名コードを配置する（図4参照）。ただし、複数のラスタ形式の地形図を編集・合成して一つのデータに統合した場合には、統合したファイルの図枠、ファイル名コードのみを配置する（図5参照）。

なお、ラスタ形式の地形図をベクタ形式にあえて変換して利用する必要はなく、作業上の都合により変換して利用する場合においては、線分を極力結合させ、ショートベクタの発生によるファイル容量の増大化を防ぐものとする。

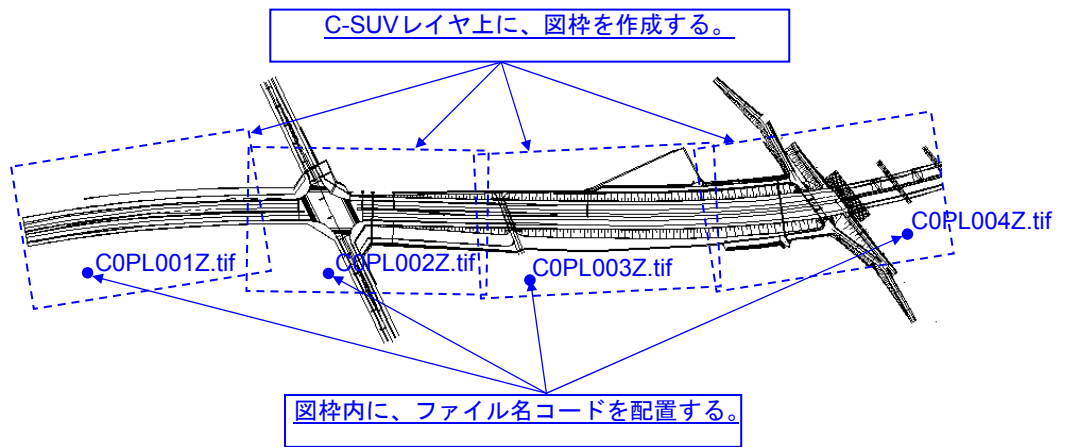


図 4 図枠作成およびファイル名コードの配置（地形図が複数に分割されている場合）

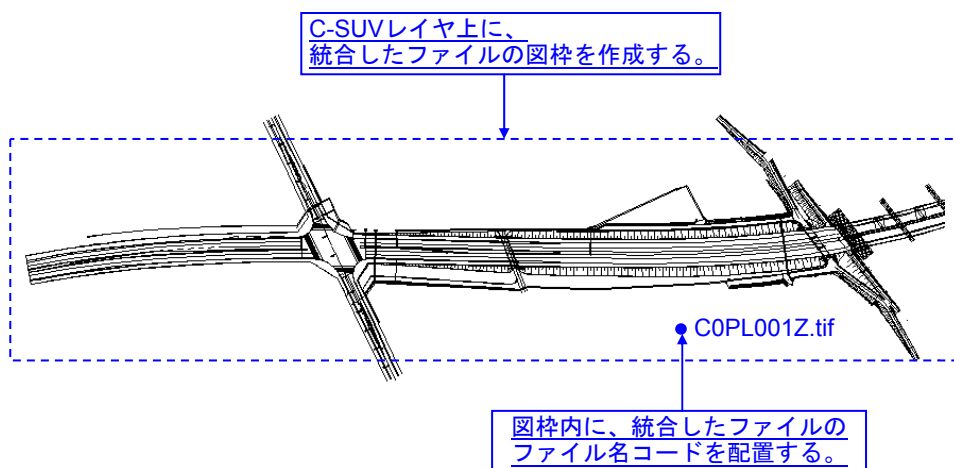


図 5 図枠作成およびファイル名コードの配置（複数の地形図を1データに統合した場合）

2-5. 図面様式

SXF Ver.2.0 を利用する場合、図面表題欄については、従来どおりの方法で図面表題欄を作成するものとし、図面管理情報の入力は不要とする。

3. 成果品項目

完成平面図をSXF Ver.2.0で作成する場合、SXF Ver.3.xにおける属性XMLデータの代わりに、距離標および測点の属性情報を入力した[CSVデータ（拡張子 .csv）](#)を電子成果物とする。

完成平面図に関する電子成果品は、以下に記すものとする。

- ・ 図形 SXF データ（拡張子 .p21）
- ・ [属性CSVデータ（拡張子 .csv）](#)
- ・ ラスタ地形図 TIFF データ（拡張子 .tif）
- ・ 図面管理ファイル（DRAWINGF.XML）

4. 完成平面図ファイル命名規則

SXF Ver.2.0 により作成する完成平面図のファイル名は、以下の規則に従うものとする。

- ・ [距離標・測点属性データ\(拡張子 .csv\)](#)は、1つの図形SXFデータ(拡張子 .p21)につき1ファイルのみ使用できる。
- ・ 距離標・測点属性データのファイル名は、[「\(図形ファイル名\).csv」](#)とし、図形ファイルと同一とする（拡張子のみ異なる）(表4参照)。
- ・ ラスタ地形図のファイル名は、[「\(図形ファイル名\).tif」](#)とする。ただし、1つの図形ファイルに対して、複数のラスタ形式の地形図が存在する場合には、図面番号が図形ファイルと異なってもよい(表4参照)。

表4 SXF Ver.2.0のファイル命名規則

ファイル名					備考	
C	0	PL	001	Z	.p21	
				拡張子： 図形 SXF データ : .p21 距離標・測点属性データ : .csv ラスタ地形図 TIFF データ : .tif	. 拡張子	
				改定履歴： ※完成平面図は最終形を表す“Z”とする。	0~9, A~Z	
				図面番号： ※図形SXFデータ（拡張子 .p21）と対応する 距離標・測点属性データ(拡張子 .csv) は、同一の図面番号を用いるものとする。 ラスタ地形図についてはこの限りではない。	001~999	
				図面種類： 図形 SXF データ : PL 距離標・測点属性データ : PL ラスタ地形図 TIFF データ : PL		
				整理番号 : 0~9, A~Z	0~9, A~Z	
				ライフサイクル : どの段階で作成したデータかを表す。 ここでは施工段階である”C”を採用。	S : 測量, D : 設計 C : 施工, M : 維持管理	

5. 格納フォルダ

完成平面図データ（図形SXFデータ（拡張子 .p21）、[距離標・測点属性データ（拡張子 .csv）](#)）の2種類およびラスタ地形図TIFFデータ（拡張子 .tif）は「工事完成図書電子納品要領（案）」に従いDRAWINGF（完成図フォルダ）に格納する。

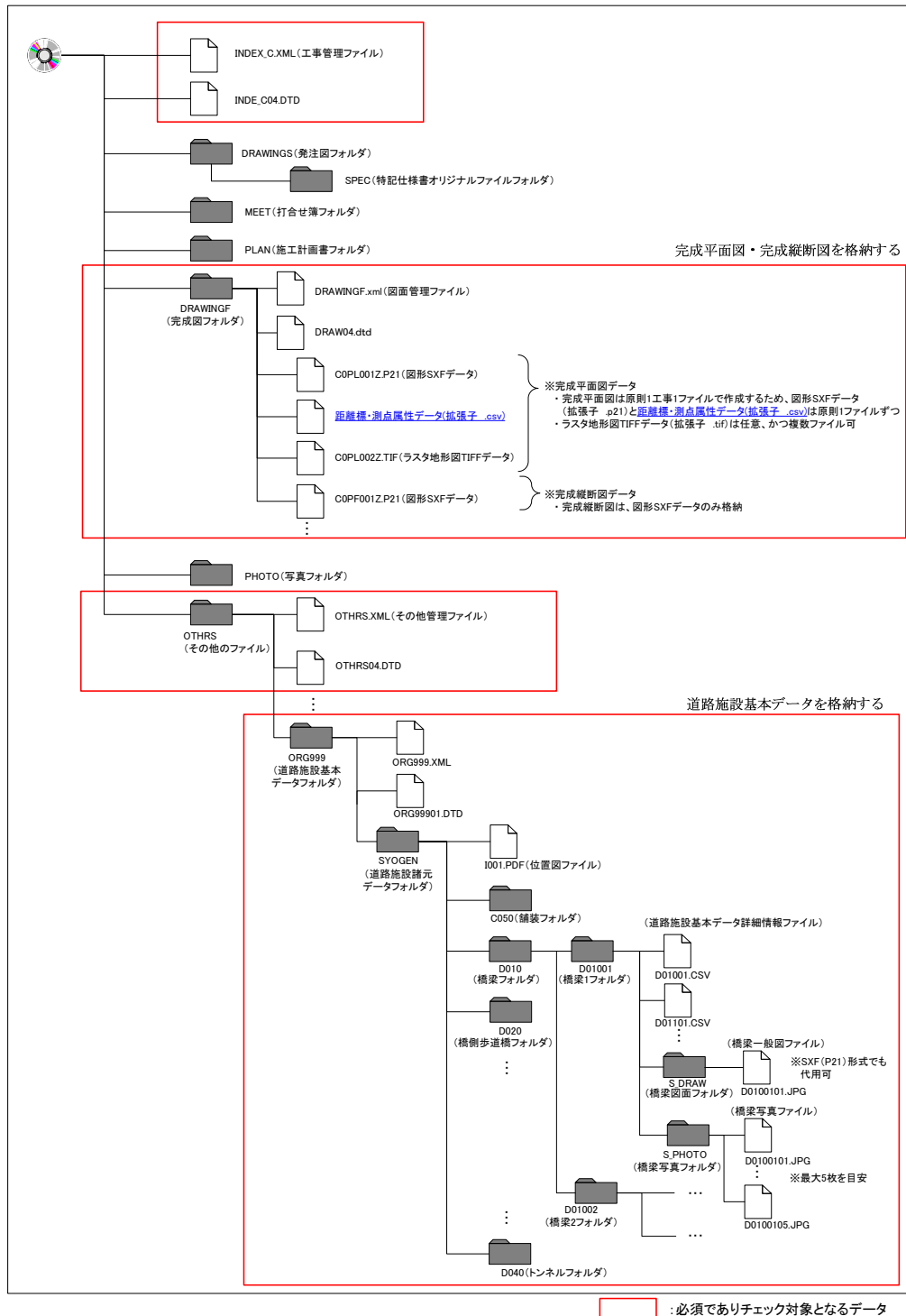


図 6 SXF Ver.2.0 のファイル構成（イメージ）

6. 電子納品時の確認方法

SXF Ver.3.xと同様に、完成平面図をSXF Ver.2.0データで作成した場合にも、SXFブラウザ Ver.3.0以上で出図することとするが、作成に利用したCADによっては、複数のラスタ形式の地形図を利用している場合に2枚目以降の地形図は出図されない可能性がある。この場合に限り、請負者はCADソフトから出図した完成平面図を添付してもよい。

3. 道路施設基本データ詳細情報・管理ファイル作成方法

1. データ作成における共通記入事項

道路施設基本データ詳細情報の作成に際して、入力内容が共通な項目について以下に示す。

(1) 整理番号 1, 2, 3 及び補助番号

「整理番号1」「整理番号2」「整理番号3」「補助番号」の4項目については、施設の新設、改良または撤去により次のとおり作成する。

なお、「E020 道路照明」「E170 消雪パイプ」「E180 ロードヒーティング」内の項目「関連施設整理番号」についても同様に作成する。

施設の新設の場合

この場合は、「整理番号1」「整理番号2」「整理番号3」「補助番号」の4項目はブランクとする。

施設の改良または撤去の場合

この場合は、「整理番号1」「整理番号2」「整理番号3」「補助番号」の4項目は、借用した既存データのままとする。

ただし、詳細情報名のデータを新規に作成する場合、例えば、橋梁の補修工事により「D01D 橋梁点検補修」の情報を新規に作成する場合には、「整理番号1」～「補助番号」は、ブランクとする。

(2) 名称

施設により、以下のとおり記入する。

- 固有名詞を持つ施設（橋梁、トンネル等）の場合、その名称を入力する。
- 固有名詞を持たない施設（縦断勾配、平面線形、擁壁、防護柵等）の場合、地先名を入力する。（地先名：所在地、市区町村名等）
- 固有名詞を持たない施設、地先名を持たない施設の場合は、ブランクとする。

(3) 所在地

該当する区間の所在地（字番地まで）を入力する。

(4) 路線

路線には、一般国道の路線コードとして、路線名の数字部分の左側に「0」を充填した4桁のコードを入力する。（「国道41号」の場合 「0041」と記入する）

(5) 現旧区分

現旧区分は、表1に示す区分より、該当するコードを入力する。

表1 現況区分コード

区 分	コード
現 道	1
旧 道	2
新 道	3

なお、現道、旧道、新道の区分については以下の考え方にもとづいて作成する。（図1参照）

- 旧道
旧道とは、バイパス等の建設に伴い建設前の道路が、他の道路として編成（編入）されずに存在する場合の元の道路をいう。
- 新道
新道とは、バイパス部分が現道に連結されないで部分的に供用されている区間をいう。
- 現道
現道とは、旧道及び新道以外の道路をいう。

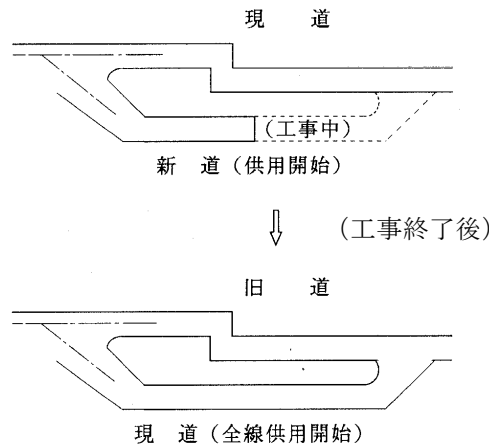


図 1 現道、旧道の考え方

(6) 距離標

1) 距離標の種類

施設の位置を示す距離標の入力方法には、次の2つの方法がある。

- 延長方向に長さを持たない施設の場合（道路標識、道路照明等）
このような施設に対する距離標の入力は1つであり、その設置場所の距離標を入力する。
- 延長方向に長さを持つ施設の場合
このような施設に対する距離標は、起点側「距離標（自）」と終点側「距離標（至）」について入力する。ただし、横断歩道橋や地下横断歩道等のように管理道路を斜めに横断している場合には、「距離標（自）」と「距離標（至）」に道路中心線上の距離を同値として入力する。

距離標（自）：起点側の距離標を入力する。

距離標（至）：終点側の距離標を入力する。

(注) 実際の距離標が不明な場合は、工事担当課と協議の上、代替となる数値（測点等）を入力する。

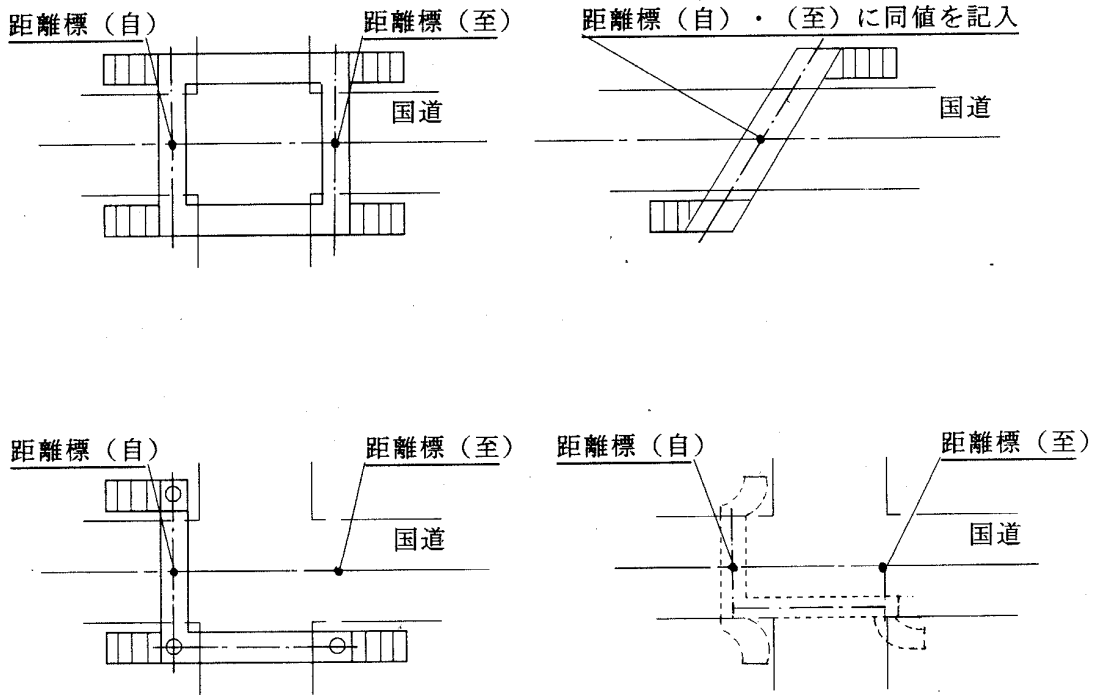


図2 横断歩道橋、地下横断歩道等の距離標（例）

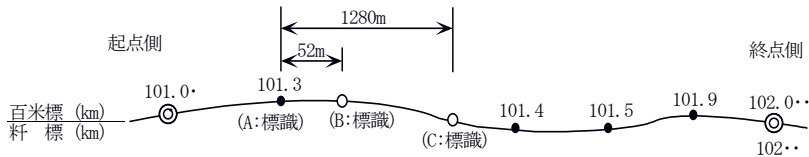
2) 距離標の入力方法

距離標は以下のように入力する。（入力例参照）

- ・ 距離標（百米標） : 整数3桁、少数点以下1桁
- ・ 距離標（距離） : 整数4桁（単位はm）

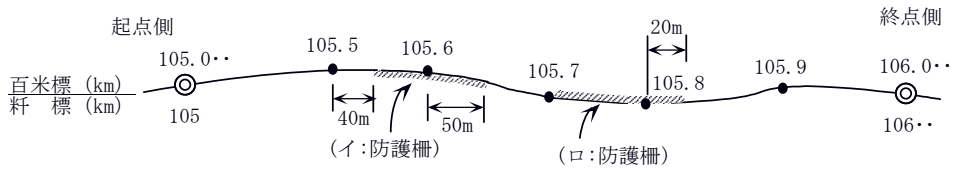
（入力例）

（例1）延長方向に長さを持たない施設（道路標識等）の場合



	百米標	+	百米標からの距離		百米標	距離
A : 標識	101.3	+	0(m)	の場合 →	101.3	0
B : 標識	101.3	+	52(m)	の場合 →	101.3	52
C : 標識	101.3	+	1280(m)	の場合 →	101.3	1280

(例2) 延長方向に長さを持つ施設（防護柵、擁壁等）の場合



イ：防護柵

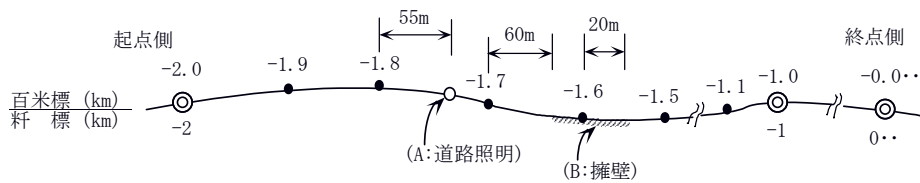
105.5 + 40(m) ~ 105.6 + 50(m)

ロ：防護柵

105.7 + 0(m) ~ 105.8 + 20(m)

百米標 (自)	距離 (自)	百米標 (至)	距離 (至)
105.5	40	105.6	50
105.7	0	105.8	20

(例3) マイナス (-) の距離標間に施設がある場合



A：道路照明

-1.8 + 55(m)

百米標	距離
-1.8	55

B：擁壁

-1.7 + 60(m) ~ -1.6 + 20(m)

百米標 (自)	距離 (自)	百米標 (至)	距離 (至)
-1.7	60	-1.6	20

2 . 道路施設基本データ詳細情報名

道路施設基本データ詳細情報の作成対象施設及び各施設に関して作成すべき詳細情報名を、表 2に示す。

詳細情報名は、道路施設単位を基本としているが、例えば橋梁の上部工（D015）のように、1 橋梁の中に複数の上部構造体があるものについては、1 施設につき複数の上部工情報を作成する必要があり、図 3に示すような関係となる。

本資料では、これらの関係を区別して指す場合に、親詳細情報名、子詳細情報名、孫詳細情報名と呼ぶこととする。

道路施設基本データ詳細情報は、表 2の道路施設単位で、かつ詳細情報名単位に 1 ファイルにとりまとめる。

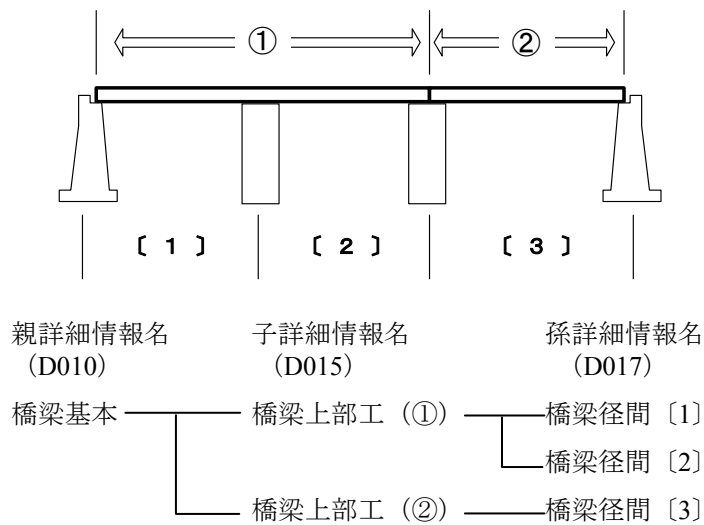


図 3 詳細情報名の関係（橋梁上部工の場合）

表 2 作成対象施設と対応する詳細情報名

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類		
					親	子	孫
道路構造	C020	縦断勾配	C020	縦断勾配	○		
	C030	平面線形	C030	平面線形基本	○		
	C050	舗装	C050	舗装基本	○		
	C060	道路交差点	C060	道路交差点本線	○		
	C070	鉄道交差点	C070	鉄道交差点基本	○		
			C071	鉄道交差点鉄道事業者		○	
	C080	歩道及び自転車歩行者道	C080	歩道自歩道	○		
	C090	独立専用自歩道	C090	独立専用自歩道	○		
	C100	中央帯	C100	中央帯	○		
C110	環境施設帯	C110	環境施設帯	○			

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類		
					親	子	孫
構造物	D010	橋梁	D010	橋梁基本	○		
			D011	橋梁幅員構成		○	
			D012	橋梁高欄防護柵		○	
			D013	橋梁交差状況		○	
			D014	橋梁添架物		○	
			D015	橋梁上部工		○	
			D016	橋梁下部工		○	
			D017	橋梁径間			○
			D019	橋梁塗装歴		○	
			D01A	橋梁補修歴		○	
			D01D	橋梁点検補修		○	
	D020	橋側歩道橋	D020	橋側歩道橋基本	○		
			D021	橋側歩道橋幅員構成		○	
			D022	橋側歩道橋高欄防護柵		○	
			D024	橋側歩道橋添架物		○	
			D025	橋側歩道橋上部工		○	
			D026	橋側歩道橋下部工		○	
			D027	橋側歩道橋径間			○
			D029	橋側歩道橋塗装歴		○	
			D02A	橋側歩道橋補修歴		○	
	D030	横断歩道橋	D030	横断歩道橋基本	○		
			D032	横断歩道橋塗装歴		○	
	D040	トンネル	D040	トンネル基本	○		
	D050	洞門	D050	洞門基本	○		
	D060	スノーシェッド	D060	スノーシェッド基本	○		
	D070	地下横断歩道	D070	地下横断歩道基本	○		
	D080	道路BOX	D080	道路BOX基本	○		
D090	横断BOX	D090	横断BOX基本	○			
D100	パイプカルバート	D100	パイプカルバート基本	○			
D120	擁壁	D120	擁壁基本	○			
付属物 及び 付帯施設	E010	防護柵	E010	防護柵基本	○		
	E020	道路照明	E020	照明基本	○		
	E030	反射式視線誘導標	E030	反射式視線誘導	○		
	E040	自光式視線誘導標	E040	自光式視線誘導基本	○		

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類		
					親	子	孫
付属物 及び 付帯施設	E050	道路標識	E050	標識基本	○		
			E051	標識各板諸元		○	
	E060	道路情報板	E060	情報板基本	○		
	E070	交通遮断機	E070	交通遮断機基本	○		
	E080	I T V	E080	I T V 基本	○		
	E090	車両感知器	E090	車両感知器基本	○		
	E100	車両諸元計測施設	E100	車両計測基本	○		
	E110	気象観測施設	E110	気象観測基本	○		
	E120	災害予知装置	E120	災害予知装置基本	○		
	E130	自動車駐車場	E130	自動車駐車場基本	○		
	E140	自転車駐車場	E140	自転車駐車場基本	○		
	E150	雪崩防止施設	E150	雪崩防止基本	○		
	E160	落石防止施設	E160	落石防止基本	○		
	E170	消雪パイプ	E170	消雪パイプ基本	○		
	E180	ロードヒーティング	E180	ロードヒーティング基本	○		
	E190	除雪ステーション	E190	除雪 S T 基本	○		
	E210	共同溝	E210	共同溝基本	○		
			E211	共同溝占用物		○	
	E220	C A B 電線共同溝	E220	C A B 電線共同溝基本	○		
			E221	C A B 電線共同溝占用物		○	
	E230	植栽	E230	植栽基本	○		
			E231	植栽樹木種別		○	
	E240	遮音施設	E240	遮音施設基本	○		
	E250	遮光フェンス	E250	遮光フェンス基本	○		
	E270	流雪溝	E270	流雪溝	○		
	E330	光ケーブル	E330	光ケーブル基本	○		
			E334	光ケーブル端局	○		
	E350	ビーコン	E350	ビーコン基本	○		

3 . 詳細情報の作成に際しての留意事項

道路施設基本データ詳細情報の作成に際しては、データの作成単位及び以下に示す留意事項を確認の上、作成する。

3-1 工事区分によるデータ作成内容

道路施設基本データの作成では、工事の内容により工事区分を、「新設」「改良」「撤去」に分類しており、各工事区分により、次のとおりデータを作成する。

(1) 新設の場合

道路施設を新規に設置した場合である。この場合、工事で構築した全ての施設の詳細情報名のデータを作成する。

道路標識を1基新設した場合

「E050 標識基本」を1データ作成（1ファイル）

「E051 標識各板諸元」を標識板の枚数分のデータを作成（1ファイルに板の枚数分）

道路照明を3基新設した場合

「E020 照明基本」を3データ作成（3ファイル）

(2) 改良の場合

既存の道路施設に対して修繕工事等を行った場合である。この場合、当該道路施設の既存データの内、工事により変更された詳細情報名のデータのみを変更する。また、補修歴情報等も作成対象となっている場合は、これらも併せて作成する。

なお、既存データは発注者から借用するものとし、データの納品にあたっては、変更の有無に係わらず借用した全ての詳細情報名のデータを納品する。

舗装をアスファルト舗装から排水性舗装に打ち換えを行った場合

「C050 舗装」の既存データに対して、舗装種別Cを「1：アスファルト舗装」から「6：排水性舗装」へ変更する。その他のデータも内容を確認の上、必要に応じて変更する。

なお、既存舗装の1部分のみを打ち換えた場合には、既存の舗装部分と打ち換えた舗装の2データを作成することになる。（2ファイル）

橋梁の補修を行った場合

橋梁については、「D019 橋梁塗装歴」「D01A 橋梁補修歴」「D01D 橋梁点検補修」「D029 橋側歩道橋塗装歴」「D02A 橋側歩道橋補修歴」「D02D 橋側歩道橋点検補修」の詳細情報名が作成対象であるため、該当する詳細情報名のデータも作成する。

(3) 撤去の場合

既存の道路施設を工事により撤去した場合である。この場合、当該施設の既存データを借用し、何も変更せずに借用した全ての詳細情報名のデータを納品する。

3-2 各項目の文字数に関する事項

各項目の文字数欄には、当該項目のデータの文字数制限（半角）を表示している。基本的に、入力文字は半角英数字とする。ただし、定義欄に「日本語」の記述がある項目について

は全ての文字を全角で入力することとする。例えば、橋梁の名称は、「10文字以内の日本語」となっており、10文字以内の全角文字（英数字も含め）で入力する。なお、文字数欄の「全体」、「小数」は次のとおりである。

全体

当該項目のデータ全体の半角文字数を示す。なお、当該項目が小数を含む場合は、小数点を除いた文字数を表示している。

例) 全体が3、小数が1の場合は、「nn.n」を示す。(nは、任意の数字)

ただし、百米標の場合は全体が4、小数が1としているが、マイナス(-)の場合は、「-nnn.n」とする。

小数

当該項目が小数を持つ数値の場合の、小数点以下の桁数を表示している。

4 . 詳細情報のフォーマット

4-1 道路構造

(1) C020 縦断勾配

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する縦断勾配を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
区間長	該当する線形の区間延長を、小数点以下3位まで記入。	数値	7	3	m
符号C	縦断勾配について、該当するコードを記入。	文字	1		コード
勾配	該当する区間の縦断勾配を、小数点以下1位まで記入。	数値	3	1	%
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(2) C030 平面線形基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する平面線形を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
線形区分C	線形区分について、該当するコードを記入。	文字	1		コード
区間長	該当する線形の区間延長を、小数点以下3位まで記入。	数値	7	3	m
始点側クロソイド	該当する区間にクロソイド曲線が含まれる場合、始点側のクロソイド曲線のパラメータを小数点以下1位まで記入。	数値	6	1	m
曲線半径	該当する区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径（R）を小数点以下1位まで記入。	数値	6	1	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
終点側クロソイド	該当する区間にクロソイド曲線が含まれる場合、終点側のクロソイド曲線のパラメータを小数点以下1位まで記入。	数値	6	1	m
曲り区分C	起点側から終点側に向かって見た場合の曲り方向について該当するコードを記入。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(3) C050 舗装基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する舗装を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
舗装区分C	舗装施工区分を表す。	文字	2		コード
舗装種別C	舗装種別を表す。	文字	1		コード
延長	該当区間（データの作成範囲）の舗装延長（該当する舗装区分の中心線上ののべ延長）（小数点以下1位）	文字	7	1	m
車道延長	車道部分の舗装延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
車道面積	車道部分の舗装面積	文字	5	0	m ²
歩道延長	歩道部分の舗装延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
歩道面積	歩道部分の舗装面積	文字	5	0	m ²
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(4) C060 道路交差点本線

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する道路交差点を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
交差方式C	交差方式を表す。	文字	1		コード
交差区分C	交差区分を表す。	文字	2		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(5) C070 鉄道交差点基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する鉄道交差点を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
名称	該当する鉄道交差点の名称（10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字））	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地	該当する区間の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
交差方式C	鉄道交差点の交差方式を表す。	文字	1		コード
単複線区分C	鉄道交差点と交差している鉄道線の単複線区分を表す。	文字	1		コード
延長	鉄道交差点の起点から終点までの実延長（小数点以下1位）踏切遮断機等の踏切施設がある場合、当該施設の外側0.5mの線間をいう。踏切施設がない場合、最外側軌条の内側より2.5m外側の線間をいう。	文字	3	1	m
幅員	踏切における道路幅員（小数点以下1位）	文字	3	1	m
歩道等施設有無C	歩道等施設の有無を表す。	文字	1		コード
歩道等施設区分C	歩道等施設の区分を表す。	文字	1		コード
起点側対道路幅員差符号C	踏切から見て取付道路（道路部）に対する起点側の幅員差の符号区分を表す。	文字	1		コード
起点側対道路幅員差	踏切から見て取付道路（道路部）に対する起点側の道路幅員差（小数点以下1位）	文字	3	1	m
終点側対道路幅員差符号C	踏切から見て取付道路（道路部）に対する終点側の幅員差の符号区分を表す。	文字	1		コード
終点側対道路幅員差	踏切から見て取付道路（道路部）に対する終点側の道路幅員差（小数点以下1位）	文字	3	1	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
交差角度	鉄道交差点の中心線と最縁端軌道の中心線の交点（A）から外方道路の中心線上 30m の地点と（A）点を結ぶ線と最縁端軌道の中心線との交角（直角に交差する場合は「90」を記入し、それ以外の場合には最鋭角を記入する。また、交差角度が起点側、終点側で異なる場合は狭い方の角度を記入する。なお、路線の起終点が袋小路により 30m 未満の場合は、路線の起終点からの交差角度を記入する。）	文字	2	0	度
起点側道路勾配符号C	起点側の道路勾配の符号を表す。（鉄道交差点に向かって上り勾配を+（プラス）、下り勾配を-（マイナス）とする。）	文字	1		コード
起点側道路勾配	鉄道交差点端から道路の中心線上 30m の地点で計った起点側の道路勾配（%単位）	文字	2	0	%
終点側道路勾配符号C	終点側の道路勾配の符号を表す。（鉄道交差点に向かって上り勾配を+（プラス）、下り勾配を-（マイナス）とする。）	文字	1		コード
終点側道路勾配	鉄道交差点端から道路の中心線上 30m の地点で計った終点側の道路勾配（%単位）	文字	2	0	%
路面区分C	鉄道交差点内の路面状況を表す。	文字	1		
起点左側見通し距離C	踏切からの列車の見通し距離（起点側及び左側） 注）見通し距離とは、鉄道交差点における最縁端軌道の中心線と道路の中心線との交点から軌道の外方道路の中心線上5mの地点における1.2メートルの高さにおいて、見通すことができる軌道の中心線上当該交点までの長さ。	文字	1		コード
起点右側見通し距離C	踏切からの列車の見通し距離（起点側及び右側） 注）見通し距離とは、鉄道交差点における最縁端軌道の中心線と道路の中心線との交点から軌道の外方道路の中心線上5mの地点における1.2メートルの高さにおいて、見通すことができる軌道の中心線上当該交点までの長さ。	文字	1		コード
終点左側見通し距離C	踏切からの列車の見通し距離（終点側及び左側） 注）見通し距離とは、鉄道交差点における最縁端軌道の中心線と道路の中心線との交点から軌道の外方道路の中心線上5mの地点における1.2メートルの高さにおいて、見通すことができる軌道の中心線上当該交点までの長さ。	文字	1		コード
終点右側見通し距離C	踏切からの列車の見通し距離（終点側及び右側） 注）見通し距離とは、鉄道交差点における最縁端軌道の中心線と道路の中心線との交点から軌道の外方道路の中心線上5mの地点における1.2メートルの高さにおいて、見通すことができる軌道の中心線上当該交点までの長さ。	文字	1		コード
起点側道路交差点距離	鉄道交差点の起終点から 50 メートル以内にある道路交差点（立体交差を除く）を対象として、鉄道交差点の起点から道路交差点の中心までの距離	文字	2	0	m
終点側道路交差点距離	鉄道交差点の起終点から 50 メートル以内にある道路交差点（立体交差を除く）を対象として、鉄道交差点の終点から道路交差点の中心までの距離	文字	2	0	m
踏切道種別C	踏切道区分を表す。（第一種踏切道とは、踏切警手を常時配置するかまた自動踏切遮断機を設置しているものをいい、第二種踏	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
	切道とは、一定時間を限り踏切警手を設置しているものをいう。 また、第三種踏切道とは、踏切警報機を設置しているものをいう、第四種踏切道とは、第一種から第三種に該当しないものをいう。				
遮断時間	列車の通行により、道路交通が遮断される1日に生ずる延べ時間	文字	4	0	分
最小桁下高	立体交差の最小桁下高(小数点以下2位)	文字	4	2	m
鉄道上下別C	立体交差している鉄道が道路に対し、上・下どちらに位置するかを表す。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(6) C071 鉄道交差点鉄道事業者

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する道路交差点を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
鉄道事業者名C	該当する鉄道事業者名をコードで記入	文字	3		コード
鉄道線名C	該当する鉄道線名をコードで記入	文字	6		コード

(7) C080 歩道自歩道

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する歩道及び自転車歩行車道を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
検査数字	該当する区間の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
沿道状況区分C	沿道状況について、該当するコードを記入	文字	1		コード
歩道等種別C	歩道等種別について、該当するコードを記入	文字	1		コード
形式C	歩道の形式について、該当するコードを記入	文字	2		コード
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
設置区分C	設置区分について、該当するコードを記入	文字	2		コード
歩道等延長	路線の実延長区間における歩道等設置区間について、歩道等部分の中心線上の延長を、左右合計したのべ延長で記入	文字	7	0	m
雪寒地域歩道延長	該当する区間が雪寒地域内の場合、その歩道延長（のべ延長）を記入	文字	7	0	m
積雪地域歩道延長	該当する区間が積雪地域内の場合、その歩道延長（のべ延長）を記入	文字	7	0	m
総幅員	該当する区間の植樹帯等を含んだ総幅員（平均値）を、小数点以下2位まで記入	文字	4	2	m
有効幅員	該当する区間の平均有効幅員を、小数点以下2位まで記入	文字	4	2	m
幅員4M以上延長	有効幅員が4m以上の実延長	文字	5	0	m
幅員3M以上延長	有効幅員が3m以上4m未満の実延長	文字	5	0	m
幅員2M以上延長	有効幅員が2m以上3m未満の実延長	文字	5	0	m
幅員1M50以上延長	有効幅員が1.5m以上2m未満の実延長		5	0	m
幅員1M以上延長	有効幅員が1m以上2m未満の実延長	文字	5	0	m
幅員1M未満延長	有効幅員が1m未満の実延長	文字	5	0	m
列状	該当する区間における実延長区間内の植樹施設設置区間の列状について、歩道等部分の中心線上の延長（のべ延長）を記入	文字	5	0	m
帯状	該当する区間における実延長区間内の植樹施設設置区間の帯状について、歩道等部分の中心線上の延長（のべ延長）を記入	文字	5	0	m
交差点部切下げ箇所数	該当する区間における交差点部分の歩道等切り下げ箇所数（のべ箇所数）を記入	文字	3	0	
その他切下げ箇所数	上記以外の切り下げ箇所数（のべ箇所数）を記入	文字	3	0	
点字ブロック枚数	該当する区間における点字ブロックの設置枚数（のべ枚数）を記入	文字	5	0	
点字ブロック箇所数	該当する区間における点字ブロックの設置箇所数（のべ箇所数）を記入	文字	3	0	
点字ブロックのべ延長	該当する区間における点字ブロックの設置延長（のべ延長）を記入	文字	6	0	m
屋根箇所数	該当する区間における屋根の設置箇所数（のべ箇所数）を記入	文字	3	0	
屋根延長	該当する区間における屋根が設置されている延長（のべ延長）を記入	文字	5	0	m
屋根占用別C	屋根の占用別について、該当するコードを記入	文字	1		コード
舗装済延長	歩道及び自転車歩行者道の舗装されている区間の延長	文字	5	0	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
未舗装延長	歩道及び自転車歩行者道の舗装がされていない区間の延長	文字	5	0	m
カラー舗装有無 C	該当する区間のカラー舗装の有無について、該当するコードを記入	文字	1		コード

(8) C090 独立専用自歩道

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する立専用自歩道を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
検査数字	該当する区間の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
自歩道専用区分 C	自歩道専用区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
道路種別C	道路種別区分を表す。	文字	1		コード
総延長	該当する区間の起点から終点までの道路中心線を測定した延長（重用延長、未供用延長および実延長を加えた延長）	文字	5	0	m
重用延長	道路法第11条第1項から第3項までの規定による、上級の路線に重複している区間の延長。同一の道路種別の重用延長については、同条を準用し、路線コードの若い番号の路線に重用している区間の延長。また、道路交差点内においても、同様の扱い。	文字	5	0	m
未供用延長	路線の指定および認定の告示がされているが、未だ供用開始の告示がされていない区間の延長	文字	5	0	m
実延長	道路法の規定に基づき供用開始の告示がなされている区間のうち、重用区間を除いた区間の延長	文字	5	0	m
重用自歩道設置 延長	重用区間において、部分歩道として供用開始されている区間の延長	文字	5	0	m
幅員4M以上延 長	有効幅員が4m以上の実延長	文字	5	0	m
幅員3M以上延 長	有効幅員が3m以上4m未満の実延長	文字	5	0	m
幅員2M以上延 長	有効幅員が2m以上3m未満の実延長	文字	5	0	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
幅員1M以上延長	有効幅員が1m以上2m未満の実延長	文字	5	0	m
幅員1M未満延長	有効幅員が1m未満の実延長	文字	5	0	m
未舗装道延長	路面が未舗装道の実延長	文字	5	0	m
コンクリート道延長	路面がコンクリート道の実延長	文字	5	0	m
アスファルト道延長	路面がアスファルト道の実延長	文字	5	0	m
平板ブロック道延長	路面が平板ブロック道の実延長	文字	5	0	m
その他舗装道延長	路面がその他舗装道の実延長	文字	5	0	m
道路部延長	該当する区間が道路部分の実延長	文字	5	0	m
橋梁部延長	該当する区間が橋梁部分の実延長	文字	5	0	m
トンネル部延長	該当する区間がトンネル部分の実延長	文字	5	0	m
道路敷部面積	該当する区間が道路敷部の実延長区間における道路面積	文字	6	0	m ²
有効幅員部面積	該当する区間が有効幅員部の実延長区間における道路面積	文字	6	0	m ²
国有地面積	該当する区間が国有地の実延長区間における道路面積	文字	6	0	m ²
地方公共団体部面積	該当する区間が地方公共団体部の実延長区間における道路面積	文字	6	0	m ²
立体交差箇所JR	該当する区間の実延長区間におけるJRとの立体交差箇所数	文字	1	0	
立体交差箇所民鉄	該当する区間の実延長区間における民鉄との立体交差箇所数	文字	1	0	
立体交差箇所専用鉄道	該当する区間の実延長区間における専用鉄道との立体交差箇所数	文字	1	0	
平面交差箇所JR	該当する区間の実延長区間におけるJRとの平面交差箇所数	文字	1	0	
平面交差箇所民鉄	該当する区間の実延長区間における民鉄との平面交差箇所数	文字	1	0	
平面交差箇所専用鉄道	該当する区間の実延長区間における専用鉄道との平面交差箇所数	文字	1	0	
自地域内橋梁箇所数	該当する区間が自地域内の実延長区間における橋梁箇所数	文字	1	0	
市区町村界橋梁箇所数	該当する区間が市区町村界の実延長区間における橋梁箇所数	文字	1	0	
都道府県界橋梁箇所数	該当する区間が都道府県界の実延長区間における橋梁箇所数	文字	1	0	
自地域内トンネル箇所数	該当する区間が自地域内の実延長区間におけるトンネル箇所数	文字	1	0	
市区町村界トンネル箇所数	該当する区間が市区町村界の実延長区間におけるトンネル箇所数	文字	1	0	

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
都道府県界トンネル箇所数	該当する区間が都道府県界の実延長区間におけるトンネル箇所数	文字	1	0	

(9) C100 中央帯

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する中央帯を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
型式C	中央帯の型式を表す。	文字	2		コード
中央帯延長	中央帯の延長（少数点以下1位）	文字	7	1	m
Aタイプ植栽組合せ延長	中央分離帯に植栽が設置されている場合の組合せについて、Aタイプ（街路樹＋灌木＋張芝）植栽に最も近い各植栽帯ののべ延長	文字	6	0	m
Bタイプ植栽組合せ延長	中央分離帯に植栽が設置されている場合の組合せについて、Bタイプ（灌木＋張芝）植栽に最も近い各植栽帯ののべ延長	文字	6	0	m
Cタイプ植栽組合せ延長	中央分離帯に植栽が設置されている場合の組合せについて、Cタイプ（張芝のみ）植栽に最も近い各植栽帯ののべ延長	文字	6	0	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(10) C110 環境施設帯

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する環境施設帯を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
環境施設帯延長	該当する区間の環境施設帯延長（のべ延長）（小数点以下1位）	文字	7	1	m
設置道路延長	該当する区間において環境施設帯が設置されている道路延長（小数点以下1位）	文字	7	1	m
施設帯面積	該当する区間の環境施設帯の面積（のべ面積）	文字	8	0	m ²
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

4-2 構造物

(1) D010 橋梁基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
橋梁コード	該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した頭4桁の橋梁コードを記入。	文字	4		
分割区分C	該当する橋梁の分割区分を表す。	文字	1		コード
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	文字	4	0	
名称	橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20		
橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード
橋梁区分C	橋梁区分を表す。	文字	1		コード
架設竣工年	架設竣工年。(年は西暦)	文字	4	0	
等級C	橋梁の等級を表す。	文字	1		コード
適用示方書C	設計または施工に用いた代表的な適用示方書を表す。 *旧橋を撤去せず部分的に架替等を行った場合の記入は、当初架設時のものを記入する。	文字	3		コード
総径間数	対象となる橋梁を構成している径間数。	文字	3	0	
事業区分C	事業区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
橋長	橋台間のパラペット前面の距離(小数点以下2位)高架橋については、市区町村界を考慮。	文字	6	2	m
橋面積	橋面積(地覆の内側間(道路部)×橋長)(小数点以下1位)	文字	6	1	m ²
平面形状C	1橋全体としての平面形状を表す。	文字	1		コード
落下物防止柵高さ	落下物防止柵の高さの最大値(小数点以下2位)	文字	3	2	m
落下物防止柵延長	落下物防止柵の延長(小数点以下2位)	文字	5	2	m
遮音壁有無C	遮音壁の有無を表す。	文字	1		コード
遮光壁有無C	遮光壁の有無を表す。	文字	1		コード
踏掛版有無C	踏掛版の設置の有無を表す。	文字	1		コード
点検施設C	橋梁の点検施設を表す。	文字	1		コード
排水施設C	代表的な排水施設の型式を表す。	文字	1		コード
設計活荷重C	設計活荷重を表す。	文字	2		コード
通行制限C	通行制限を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
上部工分離橋脚 一体別C	上部工分離の場合の橋脚一体の別を表す。	文字	1		コード
起点側市区町村 C	該当する橋梁区間の起点側の市区町村名。使用するコードは「全 国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
起点側検査数字	該当する橋梁区間の起点側の市区町村名。コード末尾の□内の 数字。	文字	1		
起点側所在地	該当する橋梁区間の起点側の所在地（字番地まで）（30文字以 内）	文字	60		
終点側市区町村 C	該当する橋梁区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全 国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
終点側検査数字	該当する橋梁区間の終点側の市区町村名。コード末尾の□内の 数字。	文字	1		
終点側所在地	該当する橋梁区間の終点側の所在地（字番地まで）（30文字以 内）	文字	60		
他域橋長	他域延長（小数点以下2位）（該当する橋梁が市区町村界（都道 府県界と重複している場合も同様に取扱う）に架設されている 場合に限る。）	文字	6	2m	
起終点区分C	他域橋長において他域とされた地域が起点側市区町村C、終点 側市区町村Cにおける所在地のどちらに位置しているか、他域 橋長の存する地域について、該当するコードを記入する。	文字	1		コード
橋梁接続起点側 市区町村C	（2以上の市区町村にわたって設けられている高架橋の場合に 限る。）該当する高架橋以外の高架部分の起点側の市区町村名。 使用するコードは、「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コ ード」	文字	5		コード
橋梁接続起点側 検査数字	該当する高架橋以外の高架部分の起点側の市区町村名。コード 末尾の□内の数字。	文字	1		
橋梁接続起点側 橋梁種別C	橋梁接続の起点側の橋梁種別を表す。	文字	1		コード
橋梁接続起点側 橋梁コード	橋梁接続の起点側の橋梁を表す。該当する橋梁の橋梁コード（整 理番号1の頭4行）を記入する。	文字	4		
橋梁接続起点側 分割番号	橋梁接続の起点側の橋梁分割番号を表す。	文字	1		
橋梁接続終点側 市区町村C	（2以上の市区町村にわたって設けられている高架橋の場合に 限る。）該当する高架橋以外の高架部分の終点側の市区町村名。 使用するコードは、「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コ ード」	文字	5		コード
橋梁接続終点側 検査数字	該当する高架橋以外の高架部分の終点側の市区町村名。コード 末尾の□内の数字。	文字	1		
橋梁接続終点側 橋梁種別C	橋梁接続の終点側の橋梁種別を表す。	文字	1		コード
橋梁接続終点側 橋梁コード	橋梁接続の終点側の橋梁を表す。該当する橋梁の橋梁コード（整 理番号1の頭4行）を記入する。	文字	4		
橋梁接続終点側 分割番号	橋梁接続の終点側の橋梁分割番号を表す。	文字	1		

(2) D011 橋梁幅員構成

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
全幅員	全幅員を表す。(小数点以下2位)	文字	4	2	m
有効幅員	有効幅員を表す。(小数点以下2位)	文字	4	2	m
左側車線地覆幅	起点から見て左側車線の地覆幅(小数点以下2位)	文字	3	2	m
左側車線歩道幅	起点から見て左側車線の歩道幅(小数点以下2位)	文字	4	2	m
左側車線路肩幅	起点から見て左側車線の路肩幅(小数点以下2位)	文字	4	2	m
左側車線車道幅	起点から見て左側車線の車道幅(小数点以下2位)	文字	5	2	m
中央帯	中央帯の幅員(小数点以下2位)	文字	4	2	m
中央分離帯	中央分離帯の幅員(小数点以下2位)	文字	4	2	m
右側車線車道幅	起点から見て右側車線の車道幅(小数点以下2位)	文字	5	2	m
右側車線路肩幅	起点から見て右側車線の路肩幅(小数点以下2位)	文字	4	2	m
右側車線歩道幅	起点から見て右側車線の歩道幅(小数点以下2位)	文字	4	2	m
右側車線地覆幅	起点から見て右側車線の地覆幅(小数点以下2位)	文字	3	2	m

(3) D012 橋梁高欄防護柵

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
高欄防護柵設置場所C	高欄、防護柵の設置場所	文字	1		コード
高欄防護柵材質材料C	高欄の材質(材料)	文字	1		コード
防護柵設計種別C	車両用防護柵の設計種別	文字	2		コード

(4) D013 橋梁交差状況

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
架橋状況C	該当する橋梁の架橋状況	文字	1		コード
交差物名称	交差物件名称(10文字以内)	文字	20		

(5) D014 橋梁添架物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
添架物区分C	添架物区分を表す。	文字	1		コード
添架物種別C	添架物種別を表す。	文字	2		コード
添架物寸法	電力及び電話について、設置する条数と段数を表す。	文字	4		
添架物重量	添架物の単位長さ当たりの重量	文字	3		k g f / m
添架物管理者名	添架物の管理者名（10文字以内）	文字	20		
占用物件本数	添架物種別毎の物件数	文字	3		

(6) D015 橋梁上部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
構造体番号	上部工の構造体毎の番号	文字	3		
起点側伸縮装置形式C	該当する構造体における起点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
終点側伸縮装置形式C	該当する構造体における終点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
材料区分C	主構造の材料	文字	1		コード
桁形式区分C	主桁構造の桁形式	文字	1		コード
構造形式C	構造体の形式（材料区分コード+構造形式コードの3桁）	文字	3		コード
路面位置C	路面位置を表す。	文字	1		コード
主桁主構本数	主桁本数を表す。	文字	3	0	
主桁主構高さ	主桁または主構高さの最大値（小数点以下2位）	文字	4	2	m
主桁主構間隔	主桁または主構間隔の最大値（小数点以下2位）	文字	4	2	m
床版材料C	床版材料を表す。	文字	1		コード
床版厚さ	床版の最小の厚さ（小数点以下1位）	文字	3	1	c m
架設年月日	上部工の架設年月日（年は西暦）	文字	8	0	
鋼上部工表面処理C	鋼上部工の耐候性鋼材の表面処理	文字	1		コード
塗装年月日	該当する構造体の新設時の塗装年月日（年は西暦）	文字	8	0	
プライマー下塗塗料C	構造体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード
中塗塗料C	構造体の新設時での中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	構造体の新設時での上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	塗装方法を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
工場塗装面積	該当する構造体の工場塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
本体塗装面積	該当する構造体の本体塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
高欄塗装面積	該当する構造体の高欄塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
塗装会社	塗装会社名（10文字以内）	文字	20		
主桁コンクリート強度	主桁のコンクリート強度（σ _{ck} ）	文字	3	0	kgf/cm ²
床版コンクリート強度	床版のコンクリート強度	文字	3	0	kgf/cm ²

(7) D016 橋梁下部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
躯体番号	下部工の躯体毎の番号	文字	3		
橋台橋脚構造形式C	該当する下部工橋脚の構造形式	文字	2		コード
橋台橋脚高さ	橋台の場合、フーチング下面からパラペット天端までの高さ（小数点以下2位）（基礎がケーソンの場合はケーソン天端から） 橋脚の場合、フーチング下面から沓座面までの高さ（小数点以下2位）（基礎がケーソンの場合はケーソン天端から）	文字	5	2	m
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
塗装年月日	該当する下部工躯体の新設時の塗装年月日（年は西暦）	文字	8	0	
プライマー下塗塗料C	下部工躯体の新設時のプライマー及び下塗り塗料	文字	2		
中塗塗料C	下部工躯体の新設時の中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	下部工躯体の新設時の上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	下部工躯体の新設時の塗装方法	文字	1		コード
工場塗装面積	下部工躯体の工場塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
本体塗装面積	下部工躯体の本体塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
塗装会社	塗装会社名（10文字以内）	文字	20		
躯体コンクリート強度	下部工躯体のコンクリート強度（σ _{ck} ）	文字	3	0	kgf/cm ²

(8) D017 橋梁径間

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号 1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号 2	同上	文字	—		
整理番号 3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
構造体番号	該当する支間に対する上部工の構造体番号	文字	3		
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
支間番号	径間内で付した通し番号のうち該当する支間番号	文字	1		
支間長	上部工の支間長（径間長）（小数点以下3位）	文字	6	3	m
起点側支承種類 C	該当する支間の起点側支承構造（支承及び落橋防止構造の種類）	文字	2		コード
起点側落橋防止 1 C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止 2 C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止 3 C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側支承種類 C	該当する支間の終点側支承構造（支承及び落橋防止構造の種類）	文字	2		コード
終点側落橋防止 1 C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止 2 C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止 3 C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側躯体番号 1	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
起点側躯体番号 2	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号 1	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号 2	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		

(9) D019 橋梁塗装歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号 1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号 2	同上	文字	—		
整理番号 3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
径間又は躯体番	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。	文字	3		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
号	下部工の場合、躯体番号。				
上下部工区分C	上・下部工に関するデータの作成区分	文字	1		コード
塗装年月日	再塗装を行った年月日（年は西暦）	文字	8	0	
プライマー下塗塗料C	プライマー及び下塗り塗料を表す。	文字	2		コード
中塗塗料C	中塗り塗料を表す。	文字	2		コード
上塗塗料C	上塗り塗料を表す。	文字	2		コード
本体塗装面積	本体に対する再塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
高欄塗装面積	高欄に対する再塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		

(10) D01A 橋梁補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。（伸縮装置等については、隣接する上部工の中で一番若い径間番号（起点側上部工）。落橋防止等については、上部工の径間番号。） 下部工の場合、躯体番号。	文字	4		
補修改良年月日	補修または改良を行った年月日（年は西暦）	文字	8	0	
補修改良区分C	補修または改良に関するデータの作成区分	文字	1		コード
主な補修改良内容C	補修の場合、代表的な補修内容。 改良の場合、代表的な改良内容。	文字	4		コード
前回補修年月日	前回補修を行った年月日（再補修の場合のみ）（年は西暦）	文字	8	0	

(11) D01D 橋梁点検補修

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋梁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
部材区分C	部材区分コード	文字	2		コード
部材番号	橋梁点検要領（案）に基づく部材番号※ ※定期点検調書の部材番号図（発注者から貸与）参照	文字	4		
補修年月日	補修または改良を行った年月日（年は西暦）	文字	8	0	
補修補強内容C	補修補強工法	文字	3		コード

(12) D020 橋側歩道橋基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
橋梁コード	該当する区間の橋梁コード。整理番号1で記入した頭4桁の橋梁コードを記入。	文字	4		
分割区分C	該当する橋側歩道橋の分割区分を表す。	文字	1		コード
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	文字	4	0	
名称	橋側歩道橋名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字))	文字	20		
橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード
架設竣工年	架設竣工年。(年は西暦)	文字	4	0	
適用示方書C	設計または施工に用いた代表的な適用示方書を表す。 *旧橋を撤去せず部分的に架替等を行った場合の記入は、当初架設時のものを記入する。	文字	3		コード
総径間数	対象となる橋側歩道橋を構成している径間数。	文字	3	0	
事業区分C	事業区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
橋長	橋台間のパラペット前面の距離(小数点以下2位)高架橋については、市区町村界を考慮。	文字	6	2	m
橋面積	橋側歩道橋の面積(地覆の内側間(歩道部)×橋長)(小数点以下1位)	文字	6	1	m ²
平面形状C	1橋全体としての平面形状を表す。	文字	1		コード
落下物防止柵高さ	落下物防止柵の高さの最大値(小数点以下2位)	文字	3	2	m
落下物防止柵延長	落下物防止柵の延長(小数点以下2位)	文字	5	2	m
点検施設C	橋側歩道橋の点検施設を表す。	文字	1		コード
排水施設C	代表的な排水施設の型式を表す。	文字	1		コード
起点側市区町村C	該当する橋側歩道橋区間の起点側の市区町村名。使用するコードは、「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
起点側検査数字	該当する橋側歩道橋区間の起点側の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
起点側所在地	該当する橋側歩道橋区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
終点側市区町村C	該当する橋側歩道橋区間の終点側の市区町村名。使用するコードは、「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
終点側検査数字	該当する橋側歩道橋区間の終点側の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
終点側所在地	橋側歩道橋終点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
他域橋長	他域延長（小数点以下2位）（該当橋側歩道橋が市区町村界（都道府県界と重複している場合も同様に取扱う）に架設されている場合に限る。）	文字	6	2	m
起終点区分C	地域橋長において他域とされた地域が起点側市区町村C、終点側市区町村Cにおける所在地のどちらに位置しているか、他域橋長の存する地域について、該当するコードを記入する。	文字	1		コード
橋梁接続起点側市区町村C	該当する高架橋以外の高架部分の起点側の市区町村名。（2以上の市区町村にわたって設けられている高架橋の場合に限る。）使用するコードは、「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
橋梁接続起点側検査数字	該当する高架橋以外の高架部分の起点側の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
橋梁接続起点側橋梁種別C	橋梁接続の起点側の橋梁種別を表す。	文字	1		コード
橋梁接続起点側橋梁コード	橋梁接続の起点側の橋梁を表す。	文字	4		
橋梁接続起点側分割番号	橋梁接続の起点側の橋梁分割番号を表す。	文字	1		
橋梁接続終点側市区町村C	該当する高架橋以外の高架部分の終点側の市区町村名。（2以上の市区町村にわたって設けられている高架橋の場合に限る。）使用するコードは、「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
橋梁接続終点側検査数字	該当する高架橋以外の高架部分の終点側の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
橋梁接続終点側橋梁種別C	橋梁接続の終点側の橋梁種別を表す。	文字	1		コード
橋梁接続終点側橋梁コード	橋梁接続の終点側の橋梁を表す。	文字	4		
橋梁接続終点側分割番号	橋梁接続の終点側の橋梁分割番号を表す。	文字	1		

(13) D021 橋側歩道橋幅員構成

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
全幅員	全幅員を表す。（小数点以下2位）	文字	4	2	m
有効幅員	有効幅員を表す。（小数点以下2位）	文字	4	2	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
左側車線歩道幅	起点から見て歩道中心より、左側の歩道幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側車線歩道幅	起点から見て歩道中心より、右側の歩道幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m

(14) D022 橋側歩道橋高欄防護柵

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
高欄防護柵材質 材料C	高欄の材質（材料）	文字	1		コード
高欄防護柵高さ	高欄の橋面からの高さ（小数点以下2位）	文字	3	2	m

(15) D024 橋側歩道橋添架物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
添架物区分C	添架物区分を表す。	文字	1		コード
添架物種別C	添架物種別を表す。	文字	2		コード
添架物寸法	電力及び電話について、設置する条数と段数を表す。	文字	4		
添架物重量	添架物の単位長さ当たりの重量	文字	3	0	kg f / m
添架物管理者名	添架物の管理者名（10文字以内）	文字	20		
占用物件本数	添架物種別毎の物件数	文字	3	0	

(16) D025 橋側歩道橋上部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
構造体番号	上部工の構造体毎の番号	文字	3		
起点側伸縮装置 形式C	該当する構造体における起点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
終点側伸縮装置 形式C	該当する構造体における終点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
材料区分C	主構造の材料	文字	1		コード
桁形式区分C	主桁構造の桁形式	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
構造形式C	構造体の形式（材料区分コード+構造形式コードの3桁）	文字	3		コード
路面位置C	路面位置を表す。	文字	1		コード
主桁主構本数	主桁本数を表す。	文字	3	0	
主桁主構高さ	主桁または主構高さの最大値（小数点以下2位）	文字	4	2	m
主桁主構間隔	主桁または主構間隔の最大値（小数点以下2位）	文字	4	2	m
床版材料C	床版材料を表す。	文字	1		コード
架設年月日	上部工の架設年月日（年は西暦）	文字	8	0	
鋼上部工表面処理C	鋼上部工の耐候性鋼材の表面処理	文字	1		コード
塗装年月日	該当する構造体の新設時の塗装年月日（年は西暦）	文字	8	0	
プライマー下塗塗料C	構造体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード
中塗塗料C	構造体の新設時での中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	構造体の新設時での上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	塗装方法を表す。	文字	1		コード
工場塗装面積	該当する構造体の工場塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
本体塗装面積	該当する構造体の本体塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
高欄塗装面積	該当する構造体の高欄塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
塗装会社	塗装会社名（10文字以内）	文字	20		

(17) D026 橋側歩道橋下部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	-		
整理番号2	同上	文字	-		
整理番号3	同上	文字	-		
補助番号	同上	文字	-		
躯体番号	下部工の躯体毎の番号	文字	3		
橋台橋脚構造形式C	該当する下部工の構造形式	文字	2		コード
橋台橋脚高さ	橋台の場合、フーチング下面からパラペット天端までの高さ（小数点以下2位）（基礎がケーソンの場合はケーソン天端から） 橋脚の場合、フーチング下面から杓座面までの高さ（小数点以下2位）（基礎がケーソンの場合はケーソン天端から）	文字	5	2	m
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
塗装年月日	該当する下部工躯体の新設時の塗装年月日（年は西暦）	文字	8	0	
プライマー下塗塗料C	下部工躯体の新設時のプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード
中塗塗料C	下部工躯体の新設時の中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	下部工躯体の新設時の上塗り塗料	文字	2		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
塗装方法C	下部工躯体の新設時の塗装方法	文字	1		コード
工場塗装面積	下部工躯体の工場塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
本体塗装面積	下部工躯体の本体塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
塗装会社	塗装会社名（10文字以内）	文字	20		
躯体コンクリート強度	下部工躯体のコンクリート強度（σck）	文字	3		kgf/cm ²

(18) D027 橋側歩道橋径間

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
構造体番号	該当する支間に対する上部工の構造体番号	文字	3		
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
支間番号	径間内で付した通し番号のうち該当する支間番号	文字	1		
支間長	上部工の支間長（径間長）（小数点以下3位）	文字	6	3	m
起点側支承種類C	該当する支間の起点側支承構造（支承及び落橋防止構造の種類）	文字	2		コード
起点側落橋防止1C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止2C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止3C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側支承種類C	該当する支間の終点側支承構造（支承及び落橋防止構造の種類）	文字	2		コード
終点側落橋防止1C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止2C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止3C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側躯体番号1	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
起点側躯体番号2	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号1	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
終点側躯体番号 2	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		

(19) D029 橋側歩道橋塗装歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。 下部工の場合、躯体番号。	文字	3		
上下部工区分C	上・下部工に関するデータの作成区分	文字	1		コード
塗装年月日	再塗装を行った年月日（年は西暦）	文字	8	0	
プライマー下塗 塗料C	プライマー及び下塗り塗料を表す。	文字	2		
中塗塗料C	中塗り塗料を表す。	文字	2		コード
上塗塗料C	上塗り塗料を表す。	文字	2		コード
本体塗装面積	本体に対する再塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
高欄塗装面積	高欄に対する再塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		

(20) D02A 橋側歩道橋補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する橋側歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。（伸縮装置等については、隣接する上部工の中で一番若い径間番号（起点側上部工）。落橋防止等については、上部工の径間番号。） 下部工の場合、躯体番号。	文字	4		
補修改良年月日	補修または改良を行った年月日（年は西暦）	文字	8	0	
補修改良区分C	補修または改良に関するデータの作成区分	文字	1		コード
主な補修改良内容C	補修の場合、代表的な補修内容。 改良の場合、代表的な改良内容。	文字	4		コード
前回補修年月日	前回補修を行った年月日（再補修の場合のみ）（年は西暦）	文字	8	0	

(21) D02D 橋側歩道橋点検補修

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当するを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
部材区分C	部材区分コード	文字	2		コード
部材番号	橋梁点検要領（案）に基づく部材番号※ ※定期点検調書の部材番号図（発注者から貸与）参照	文字	4		
補修年月日	補修または改良を行った年月日（年は西暦）	文字	8	0	
補修補強内容C	補修補強工法	文字	3		コード

(22) D030 横断歩道橋基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する横断歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
名称	該当する横断歩道橋（10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字））	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地	該当する区間の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
昇降形式C	代表的な昇降形式区分を表す。	文字	1		コード
上部工構造形式C	代表的な上部工構造形式を表す。	文字	2		コード
上部工材料C	上部工（床版を除く）の使用材料を表す。	文字	1		コード
床版材料C	上部工のうち代表的な床版の使用材料を表す。	文字	1		コード
下部工形式C	代表的な下部工（躯体）形式を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	代表的な基礎形式を表す。	文字	2		コード
完成年次	完成年次を表す。（年は西暦）	文字	4	0	
橋長	桁端間の距離（小数点以下1位）	文字	4	1	m
桁下高	歩道橋の桁下から路面までの高さの最小高（小数点以下1位）	文字	3	1	m
幅員	昇降部分を省く橋面部の幅員（小数点以下1位）地覆がある場合には地覆内面間の距離、地覆がない場合には高欄内面間の距離。	文字	3	1	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
適用示方書C	設計で主に用いた代表的な示方書類。	文字	2		コード
本体塗装面積	横断歩道橋の本体塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
高欄塗装面積	横断歩道橋の高欄塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
現場塗装面積	横断歩道橋の現場塗装面積（小数点以下1位）	文字	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは、日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
上屋有無C	横断歩道橋の上屋の有無を表す。	文字	1		コード
エスカレータ有無C	エスカレータの有無を表す。	文字	1		コード
エスカレータ基数	エスカレータがある場合の、エスカレータの基数を表す。	文字	2	0	
エスカレータ占用別C	エスカレータがある場合の、エスカレータの占用別を表す。	文字	1		コード
エレベータ有無C	エレベータの有無を表す。	文字	1		コード
エレベータ基数	エレベータがある場合の、エレベータの基数を表す。	文字	2	0	
エレベータ占用別C	エレベータがある場合の、エレベータの占用別を表す。	文字	1		コード
上屋占用物件別C	上屋の施設がある場合の、上屋の占用別。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」。	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」。	文字	5		コード

(23) D032 横断歩道橋塗装歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する横断歩道橋を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
塗装年月	再塗装を行った年月（年は西暦）	文字	6	0	
本体塗装面積	本体に対する再塗装面積	文字	5	0	m ²
高欄塗装面積	高欄、防護柵に対する再塗装面積	文字	5	0	m ²

(24) D040 トンネル基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するトンネルを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
トンネルコード	該当する区間のトンネルコード整理番号1で記入した頭4桁のトンネルコードを記入。	文字	4		
分割区分C	該当するトンネルの分割区分。	文字	1		コード
名称	該当する区間のトンネル（10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字））	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4		0 m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4		0 m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
一般有料区分C	一般・有料の別を表す。	文字	1		コード
トンネル分類C	トンネルの分類を表す。	文字	1		コード
完成年次	完成年次を表す。	文字	3	0	
トンネル延長	坑門（入口）から坑門（出口）までのトンネル延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
建築限界高	トンネルの内空断面の建築限界高（小数点以下2位）	文字	4	2	m
中央高	トンネルの内空断面の中央高（小数点以下2位）	文字	4	2	m
有効高	トンネルの内空断面の有効高（車道端からの鉛直線が壁面または天井板と交わるまでの高さ）（小数点以下2位）	文字	4	2	m
トンネル等級C	トンネル等級区分を表す。	文字	1		コード
交通量	トンネルの現況の交通量	文字	5	0	台/日
壁面種類C	壁面種類を表す。	文字	1		コード
側壁巻厚	側壁部の設計最小覆工巻厚を表す。	文字	3	0	c m
アーチ半径	アーチ部の半径を表す。	文字	5	0	c m
換気種別C	トンネル内の換気種別を表す。	文字	1		コード
換気方式C	強制（機械）換気の場合の換気方式区分を表す。	文字	1		コード
換気台数	強制（機械）換気の場合の換気機械の所要台数	文字	2	0	
排水種別C	トンネル内の排水種別を表す。	文字	2		コード
電話個数	電話施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
押ボタン個数	押ボタン施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
火災検知個数	火災検知施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
警報表示個数	警報表示施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
点滅灯個数	点滅灯施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
音信号個数	音信号施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
誘導表示個数	誘導表示施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
排煙個数	排煙施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
避難通路個数	避難通路施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
消火栓個数	消火栓施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
消火器個数	消火器施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
給水栓個数	給水栓施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
無線通信個数	無線通信施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
再放送個数	再放送施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
拡声放送個数	拡声放送施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
水噴霧個数	水噴霧施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
I T V個数	I T V施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
非常用電源設備 個数	非常用電源設備施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
非常駐車帯個数	非常駐車帯施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
方向転換個数	方向転換施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
自動通報装置個 数	自動通報装置施設が設置されている場合のその個数（箇所数）	文字	3	0	
市区町村自C	トンネルの起点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
検査数字自	トンネルの起点側の市区町村名。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
所在地自	該当する区間の起点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
市区町村至C	トンネルの終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」をの「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
検査数字至	トンネルの終点側の市区町村名。コード末尾の□内の数字	文字	1		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
他域市区町村C	トンネルが市区町村界（都道府県界と重複している場合も同様）に設けられている場合の、他域市区町村。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」 3市区町村以上にわたって存在する場合の中間市区町村に係る分の取扱いは起終点両側の市区町村において折半するもの。	文字	5		コード
他域検査数字	トンネルが市区町村界（都道府県界と重複している場合も同様）に設けられている場合の、他域市区町村。コード末尾の□内の数字。	文字	1		
他域延長	トンネルが市区町村界（都道府県界と重複している場合も同様）に設けられている場合の、他の市区町村域に関する延長。	文字	5	0	m
現況区分C	トンネルの現況区分を表す。	文字	1		コード
道路幅	道路部幅員（車道、路肩及び歩道等を加えた幅員）（小数点以下2位）	文字	4		2m
車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	文字	4		2m
歩道等幅	左側歩道幅、右側歩道幅をプラスした歩道等幅員（小数点以下2位）	文字	4		2m
左側歩道幅	トンネル内の起点から見て左側の歩道等幅員（車道部と併設してある歩道、歩道＋自転車道および自転車歩行者道の幅員）（小数点以下2位）	文字	4		2m
左側路肩幅	トンネル内の起点から見て左側の路肩幅（小数点以下2位）	文字	4		2m
左側車道幅	トンネル内の起点から見て左側の車道幅員（小数点以下2位） 車道幅員が明確でない場合は、車道と同一平面の路肩部分として片側25cmを車道幅員より差し引いたもの。	文字	4		2m
中央帯	トンネル内の中央帯の幅員（小数点以下2位）	文字	4		2m
中央分離帯	トンネル内の中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	文字	4		2m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
右側車道幅	トンネル内の起点から見て右側の車道幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側路肩幅	トンネル内の起点から見て右側の路肩幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側歩道幅	トンネル内の起点から見て右側の歩道幅員（車道部と併設してある歩道、歩道＋自転車道および自転車歩行者道の幅員）（小数点以下2位）	文字	4	2	m
舗装種別C	トンネル内の舗装種別を表す。歩道と車道を併設されている場合は車道部。	文字	1		コード
照明有無C	トンネル内の照明の有無を表す。	文字	1		コード

(25) D050 洞門基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する洞門を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
名称	該当する洞門（10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字））	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
完成年月	洞門が完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
延長	洞門の延長（道路中心線上の延長）（小数点以下1位）	文字	5	1	m
建築限界高	洞門の内空建築限界高（小数点以下2位）	文字	4	2	m
有効高	洞門の内空有効高（車道端から鉛直線が壁面または天井板と交わるまでの高さ）（小数点以下2位）	文字	3	2	m
道路幅	洞門内の道路部幅員（車道、路肩及び歩道等を加えた幅員）（小数点以下2位）	文字	4	2	m
車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
歩道幅	左側歩道幅、右側歩道幅をプラスした歩道等幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
左側歩道幅	洞門内の起点側から見て左側の歩道幅員（車道部と併設してある歩道、歩道＋自転車道および自転車歩行者道の幅員）（小数点以下2位）	文字	4	2	m
左側路肩幅	洞門内の起点側から見て左側の路肩幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
左側車道幅	洞門内の起点側から見て左側の車道幅員（小数点以下2位）車道幅員が明確でない場合、車道と同一平面の路肩部分として片	文字	4	2	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
	側2.5cmを車道幅員より差し引いたもの				
中央帯	洞門内の中央帯の幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
中央分離帯	洞門内の中央分離帯の幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側車道幅	洞門内の起点側から見て右側の車道幅員（小数点以下2位）車道幅員が明確でない場合、車道と同一平面の路肩部分として片側2.5cmを車道幅員より差し引いたもの	文字	4	2	m
右側路肩幅	洞門内の起点側から見て右側の路肩幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側歩道幅	洞門内の起点側から見て右側の歩道幅員（車道部と併設してある歩道、歩道+自転車道および自転車歩行者道の幅員）（小数点以下2位）	文字	4	2	m
スノーシェッド併用C	洞門のスノーシェッドとの併用・単独の別を表す。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(26) D060 スノーシェッド基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するスノーシェッドを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
延長	スノーシェッドの延長（道路中心線上の延長）（小数点以下1位）	文字	5	1	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(27) D070 地下横断歩道基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する地下横断歩道を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
名称	該当する地下横断歩道の（10文字以内の日本語（漢字、ひら	文字	20		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
	がな、カタカナ、英数字))				
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
所在地	該当する区間の地下横断歩道の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
昇降形式C	代表的な昇降形式区分を表す。	文字	1		コード
完成年次	完成年次を表す。（年は西暦）	文字	4	0	
延長	地下歩道の出入口から出入口までの平面上の水平距離（小数点以下1位）	文字	4	1	m
内空幅	内空寸法の幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
内空高	内空寸法の高さ（路面より天井まで）（小数点以下1位）	文字	2	1	m
基礎種類C	代表的な地下横断歩道の基礎種類	文字	2		コード
エスカレータ有無C	地下横断歩道内のエスカレータの有無を表す。	文字	1		コード
エスカレータ基数	エスカレータがある場合のエスカレータの基数を表す。	文字	1	0	
エスカレータ占用別C	エスカレータがある場合のエスカレータの占用別を表す。	文字	1		コード
エレベータ有無C	地下横断歩道内のエレベータの有無を表す。	文字	1		コード
エレベータ基数	エレベータがある場合のエレベータの基数を表す。	文字	1	0	
エレベータ占用別C	エレベータがある場合のエレベータの占用別を表す。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(28) D080 道路BOX基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する道路BOXを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
名称	該当する道路BOX等の名称（10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字））	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	道路BOXが完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
構造形式種別C	構造形式種別を表す。	文字	1		コード
延長	道路BOXの延長（構造物の道路中心の縦方向の延長）（小数点以下1位）	文字	6	1	m
道路部	道路BOXの道路部幅員（車道、路肩及び歩道を加えた延長）（小数点以下2位）	文字	7	2	m
内空車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
左側歩道幅	道路BOXの起点から見て左側の内空歩道幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
左側路肩幅	道路BOXの起点から見て左側の内空路肩幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
中央帯	道路BOXの中央帯の幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
中央分離帯	道路BOXの中央帯分離帯の幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側路肩幅	道路BOXの起点から見て右側の内空路肩幅（小数点以下2位）	文字	4	2	m
右側歩道幅	道路BOXの起点から見て右側の内空歩道幅員（小数点以下2位）	文字	4	2	m
中央高	内空断面の中央高（小数点以下2位）2断面以上の内空断面を有する場合、代表的な断面。	文字	3	2	m
建築限界高	内空断面の建築限界高（小数点以下2位）2断面以上の内空断面を有する場合、代表的な断面。	文字	4	2	m
有効高	内空断面の有効高（車道端からの鉛直線が壁面または天井と交わる高さ）（小数点以下2位）2断面以上の内空断面を有する場合、代表的な断面。	文字	4	2	m
基礎種類C	代表的な基礎種類を表す。	文字	2		コード
換気種別C	道路BOX内の自然換気・強制換気の別を表す。	文字	1		コード
換気方式C	強制（機械）換気の場合の換気方式を表す。	文字	1		コード
換気台数	強制（機械）換気の場合の換気機械の所要台数。	文字	2	0	台
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(29) D090 横断BOX基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する横断BOXを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	横断BOX等が完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
構造形式種別C	構造形式種別を表す。	文字	1		コード
延長	横断BOX等の延長（構造物延長）（小数点以下1位）	文字	5	1	m
内空幅	横断BOX等の内空寸法の幅（小数点以下2位）二連ボックス等のように2断面以上の内空断面を有する横断BOX等の場合、代表的な断面。	文字	4	2	m
内空高	横断BOX等の内空寸法の高さ（路面より天井まで）（小数点以下2位）二連ボックス等のように2断面以上の内空断面を有する横断BOX等の場合、代表的な断面。	文字	3	2	m
最小土被り	最小土被りを表す。（小数点以下1位）	文字	3	1	m
基礎種類C	代表的な横断BOX等の基礎の種類を表す。	文字	2		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(30) D100 パイプカルバート基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するパイプカルバートを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
形式種別C	形式種別を表す。	文字	2		コード
管径	パイプカルバートの管径（公称径）	文字	4	0	mm
延長	パイプカルバートの延長（のべ延長）	文字	4	0	m

(31) D120 擁壁基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する擁壁を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置区分C	擁壁の設置区分を表す。	文字	1		コード
構造形式C	構造形式を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	代表的な基礎形式を表す。	文字	2		コード
擁壁延長	該当区間に設けられている擁壁の基礎天端でとられたのべ延長（小数点以下1位）	文字	8	1	m
最大高	擁壁の高さの最大値（小数点以下1位）高さが一定の場合、最大、最小欄に同値	文字	3	1	m
最小高	擁壁の高さの最小値（小数点以下1位）高さが一定の場合、最大、最小欄に同値	文字	3	1	m

4-3 付属物および付帯施設

(1) E010 防護柵基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する防護柵を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」 行政境界線が管理者境界にあたる場合、該当道路の管理者側の地名。 行政境界線が同一管理区域内の境界にあたる場合、起点から終点に向かって左側の地名。	文字	5		コード
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	防護柵の設置箇所を表す。	文字	1		コード
防護柵種別C	防護柵種別を表す。	文字	3		コード
設置区分C	防護柵の設置区分を表す。	文字	1		コード
設置延長	該当する設置区間内のビームの端部を含むのべ延長(小数点以下1位)	文字	5	1	m

(2) E020 照明基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する照明を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	文字	4	0	
完成年月	完成年月を表す。(年は西暦)	文字	6	0	
連続局部別C	連続・局部照明の別を表す。連続照明とは、ほぼ等間隔に設置されている照明で500m以上連続しているもの。	文字	1		コード
設置区分C	設置区分を表す。	文字	2		コード
設置箇所C	照明の設置箇所を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
灯具型式C	灯具型式表す。	文字	2		コード
照明ポール型式C	照明ポール型式表す。	文字	2		コード
基礎形式C	基礎形式表す。	文字	1		コード
光源種別1C	光源種別表す。	文字	1		コード
光源型式1	光源型式表す。(10文字以内の英数字)	文字	10		
灯数1	照明の灯数表す。	文字	4	0	
光源種別2C	道路照明の光源が複数の場合、2種類目の光源種別表す。	文字	1		コード
光源型式2	道路照明の光源が複数の場合、2種類目の光源型式表す。(10文字以内の英数字)	文字	10		
灯数2	道路照明の光源が複数の場合、2種類目の照明の灯数表す。	文字	4	0	
光源種別3C	道路照明の光源が複数の場合、3種類目の光源種別表す。	文字	1		コード
光源型式3	道路照明の光源が複数の場合、3種類目の光源型式表す。(10文字以内の英数字)	文字	10		
灯数3	道路照明の光源が複数の場合、3種類目の照明の灯数表す。	文字	4	0	
占用物件別C	該当する道路照明の占用物件の別を表す。	文字	1		コード
関連施設整理番号	設置区分Cで指定した工種の親表の整理番号	文字	—		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(3) E030 反射式視線誘導標

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する視線誘導標(反射式)を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」 行政境界線が管理者境界にあたる場合、該当道路の管理者側の地名 行政境界線が同一管理区域内の境界にあたる場合、起点から終点に向かって左側の地名	文字	5		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
誘導標種類C	誘導標の種類を表す。	文字	2		コード
個数	該当する区間の誘導標の個数(のべ個数)	文字	4	0	

(4) E040 自光式視線誘導標基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する視線誘導標基本（自光式）を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	誘導標が設置されている箇所を表す。	文字	2		コード
誘導標種類C	誘導標の種類を表す。	文字	1		コード
電源種別C	電源の種別を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(5) E050 標識基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する道路標識を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	標識の設置区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	標識柱の設置箇所を表す。	文字	1		コード
設置方式C	標識の設置方式を表す。	文字	2		コード
支柱形式C	支柱形式を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
クリアランス	設置方式が片持式、門型式等で標識板が車道に設置されている場合の車道路面から標識板下端までのクリアランス(小数点以下2位)	文字	3	2	m
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	文字	4	0	
完成年月	標識を設置した年月。(年は西暦年)	文字	6	0	
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(6) E051 標識各板諸元

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する道路標識を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
標識種類番号	道路標識（案内、警戒、規制、指示、補助標識等）の種類番号（都道府県公安委員会で設置した標識は省く）	文字	14		
板寸法縦	標識板の縦の寸法	文字	3	0	cm
板寸法横	標識板の横の寸法	文字	3	0	cm

(7) E060 情報板基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する情報板を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	情報板を設置した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
情報板種別C	情報板種別を表す。	文字	1		コード
表示方法C	表示方法を表す。	文字	1		コード
制御方法C	制御方法を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(8) E070 交通遮断機基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する交通遮断機を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
操作区分C	操作区分を表す。	文字	1		コード
制御場所C	交通遮断機の制御場所を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
制御場所名称	制御場所が遠隔制御の場合の制御場所名（10文字以内）	文字	20		
道路情報板併設有無C	該当する交通遮断機が道路情報板と併設かの有無を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(9) E080ITV 基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するITVを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
カメラ完成年月	該当するカメラが完成（設置）された年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
カメラ台数	設置されているカメラ台数	文字	2	0	
モニター台数	モニター台数を表す。	文字	2	0	
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(10) E090 車両感知器基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する車両感知器を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度を記入。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	車両感知器を設置した年月を記入	文字	6	0	
上り下り区分C	上り・下り区分について、該当するコードを記入	文字	1		コード
設置箇所C	センサーの設置箇所について、該当するコードを記入	文字	2		コード
形式C	車両感知器の形式について、該当するコードを記入	文字	2		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名のコードを記入	文字	5		コード

(11) E100 車両計測基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する車両緒元計測施設を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	該当する車両緒元計測施設が完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(12) E110 気象観測基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する象観測施を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
装置種別C	装置種別を表す。	文字	2		コード
凍結予知表示板有無C	凍結予知表示板の有無を表す。	文字	1		コード
通信回線区分C	通信回線区分を表す。	文字	1		コード
自管理他省庁区分C	気象観測施設の管理を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(13) E120 災害予知装置基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する災害予知装置を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
装置種別C	装置種別を表す。	文字	2		コード
設置のべ数	災害予知装置の設置のべ数を表す。	文字	2		
通信回線区分C	通信回線区分を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(14) E130 自動車駐車場基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する自動車駐車場を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
チェーン着脱場C	チェーン着脱場が併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
敷地面積	該当する駐車場の敷地面積	文字	6	0	m ²
駐車台数	自動車の駐車台数。	文字	3	0	
大型車駐車台数	大型車の駐車台数を記入する。駐車台数が不明な場合は、駐車台数の内、大型車1台当たりの駐車所要面積93.8㎡とし、大型車の駐車台数を記入する。（直轄指定区間現況調査）	文字	3	0	
分離構造C	駐車場が本線と分離構造となっているか否かの別を表す。	文字	1		コード
舗装種別C	代表的な舗装種別を表す。	文字	1		コード
舗装面積	舗装面積を表す。	文字	6	0	m ²
標識	標識の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	
便所	便所の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	
公衆電話	公衆電話の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
照明灯	照明灯の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	
ゴミ箱	ゴミ箱の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	
給油所	給油所の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
食堂	食堂の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
売店	売店の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
無料休憩所	無料休憩所の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
宿泊所	宿泊所の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
案内所	案内所の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	
情報ターミナル 有無C	情報ターミナルが併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
道路情報板有無 C	道路情報板が併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
管理外公衆電話	管理区域外にある公衆電話の個数（箇所数）を表す。	文字	2	0	
管理外給油所	管理区域外にある給油所の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
管理外食堂	管理区域外にある食堂の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
管理外売店	管理区域外にある売店の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
管理外無料休憩 所	管理区域外にある無料休憩所の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
管理外宿泊所	管理区域外にある宿泊所の個数（箇所数）を表す。	文字	1	0	
チェーン着脱場 看板C	道路管理者以外のチェーン着脱場看板が併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(15) E140 自転車駐車場基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する自転車駐車場を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	該当する自転車駐車場が完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する自転車駐車場の設置位置の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
管理区分C	管理区分を表す。	文字	1		コード
敷地区分C	敷地区分を表す。	文字	1		コード
施設区分C	施設区分を表す。	文字	1		コード
駐車台数	自転車の収容可能台数	文字	4	0	
上屋有無C	上屋の有無を表す。	文字	1		コード
駐車方法C	自転車の駐車方法を表す。	文字	1		コード
駐車場面積	駐車場の面積を表す。	文字	4	0	m ²
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(16) E150 雪崩防止基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する雪崩防止施設を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設種別C	施設種別区分を表す。	文字	2		コード
延長	該当する施設の延長（小数点以下1位）施設が面的に設置されているものは道路と平行方向の幅が延長。	文字	5	1	m
設置道路延長	雪崩防止施設が設置されている道路の延長（小数点以下1位）	文字	5	1	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(17) E160 落石防止基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する落石防止施設を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	該当する落石防止施設が完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
施設種別C	施設種別区分を表す。	文字	2		コード
延長	該当する区間の施設延長（小数点以下1位）	文字	5	1	m
高さ	該当する区間の施設の代表的な高さ（小数点以下1位）	文字	3	1	m
面積	該当する区間の施設的面積〔ここでは網型式（金網、エキスパンドメタル等）、吹付工等を対象とする〕	文字	4	0	m ²
落石探知器有無C	施設に落石探知器が設置されているか否かを表す。	文字	1		コード
規制区間内外別C	規制区間内、外の別を表す。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(18) E170 消雪パイプ基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する消雪パイプを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
設置区分C	設置区分を表す。	文字	2		コード
設置道路延長	消雪パイプが設置されている道路の延長	文字	4	0	m
施設区分C	施設の区分を表す。	文字	1		コード
無散水設置延長	該当する区間における無散水式の設置延長（小数点以下1位）	文字	3	1	m
占用物件別C	該当する区間の消雪パイプの占用別を表す。	文字	1		コード
噴水管散水管延長	該当する区間における噴水管（散水管）の延長（のべ延長）（小数点以下1位）	文字	5	1	m
関連施設整理番号	設置区分Cで指定した工種の親表の整理番号	文字	—		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(19) E180 ロードヒーティング基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するロードヒーティングを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
設置区分C	設置区分を表す。	文字	2		コード
延長	該当する区間の施設の設置延長（のべ延長）（小数点以下1位）	文字	5	1	m
設置道路延長	ロードヒーティングが設置されている道路延長（のべ延長）	文字	4	0	m
施工面積	該当する区間の施設が電熱線の場合、その施工面積（のべ面積）赤外線の場合、その融雪、凍結防止を行う対象面積（のべ面積）	文字	4	0	m ²
占用物件別C	該当する区間のロードヒーティングの占用別を表す。	文字	1		コード
関連施設整理番号	設置区分Cで指定した工種の親表の整理番号	文字	—		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(20) E190 除雪S T基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する除雪ステーションを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
敷地面積	除雪ステーションの敷地面積	文字	4	0	m ²
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(21) E210 共同溝基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する共同溝を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
名称	該当する共同溝の名称（10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字））	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	km
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地自	該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
完成年月	該当する共同溝が完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
共同溝区分C	共同溝の区分を表す。	文字	1		コード
指定告示延長	共同溝の指定告示延長を表す。（小数点以下1位）	文字	6	1	m
建設告示延長	共同溝の建設告示延長を表す。（小数点以下1位）	文字	6	1	m
事業化延長	共同溝の事業化延長を表す。（小数点以下1位）	文字	6	1	m
換算完成延長	共同溝の換算完成延長を表す。（小数点以下1位）	文字	6	1	m
本体完成延長	共同溝の本体完成延長を表す。（小数点以下1位）	文字	6	1	m
供用延長	共同溝の供用延長を表す。（小数点以下1位）	文字	6	1	m
幹線共同溝ラップ延長	幹線共同溝と供給管共同溝がラップしている区間延長	文字	5	0	m
道路事業費	道路事業費全体を表す。	文字	5	0	百万円
附帯事業費	附帯事業費全体を表す。	文字	5	0	百万円
関連事業	関連事業を表す。（30文字以内）	文字	60		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(22) E211 共同溝占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する共同溝を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
占用物件種別C	占用物について、該当するコードを記入	文字	1		コード
占用物件数	占用物件数を記入	文字	2	0	
負担金	企業の負担金について記入	文字	5	0	百万円
参加延長	占用物件の参加延長を、小数点以下1位まで記入	文字	6	1	m
占用延長	共同溝内の占用延長（のべ延長）を、小数点以下1位まで記入	文字	6	1	m

(23) E220C A B電線共同溝基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するC A B電線共同溝を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設改修年度	施設を改修した年度。（年は西暦）	文字	4	0	
完成年月	該当するC A B及び電線共同溝、情報BOXが完成した年月。 （年は西暦年）	文字	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
構造形式C	代表的な構造形式を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	1		コード
幅	C A B及び電線共同溝、情報BOXの全体幅（小数点以下1位） 管路形式（円形断面）の場合、外径。	文字	2	1	m
高さ	C A B及び電線共同溝、情報BOXの高さ（小数点以下1位） 管路形式（円形断面）の場合、外径。	文字	2	1	m
事業化延長	C A B及び電線共同溝、情報BOXにおける事業化延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
本体完成延長	C A B及び電線共同溝、情報BOXにおける本体完成延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
設置道路延長	C A B及び電線共同溝、情報BOXが設置されている道路延長	文字	5	0	m
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(24) E221C A B電線共同溝占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当するC A B電線共同溝を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
占用物件種別C	占用物件を表す。	文字	1		コード
物件数	占用物件数を表す。	文字	2	0	
占用延長	C A B及び電線共同溝、情報BOX内の占用延長（のべ延長） （小数点以下1位）	文字	6	1	m
占用許可年月日	占用許可年月日（年は西暦）	文字	8	0	

(25) E230 植栽基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する植栽を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	設置箇所区分を表す。	文字	1		コード
高木組合せC	該当する区間に対し、高木の街路樹等の有無を表す。	文字	1		コード
中木組合せC	該当する区間に対し、中木の街路樹等の有無を表す。	文字	1		コード
低木組合せC	該当する区間に対し、低木の灌木の有無を表す。	文字	1		コード
張芝組合せC	該当する区間に対し、張芝の有無を表す。	文字	1		コード
延長	植栽帯の延べ延長	文字	4	0	m
面積	植栽帯の延べ面積	文字	4	0	m ²
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(26) E231 植栽樹木種別

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号1	該当する植栽を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
樹木種別C	該当する区間の樹木種別	文字	3		コード
本数	該当する区間で同種の樹木の本数（のべ本数）	文字	4	0	本
高木中木低木芝別C	樹木区分を表す。	文字	1		コード

(27) E240 遮音施設基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する遮音施設を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
施設種類C	施設種類を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	2		コード
延長	該当する区間の遮音施設の延長（のべ延長）（小数点以下1位）	文字	6	1	m
設置道路延長	遮音施設が設置されている道路延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(28) E250 遮光フェンス基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する遮光フェンスを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	施設種類を表す。	文字	2		コード
延長	該当する区間の遮光フェンスの延長（のべ延長）（小数点以下1位）	文字	6	1	m
設置道路延長	遮光フェンスが設置されている道路延長（小数点以下1位）	文字	6	1	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(29) E270 流雪溝

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する流雪溝を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
延長	該当する区間における流雪溝の延長（のべ延長）	文字	6	0	m
設置道路延長	流雪溝が設置されている道路の延長	文字	6	0	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(30) E330 光ケーブル基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する光ケーブル施設を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標自	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離自	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4	1	k m
距離至	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地自	該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
支持方法C	光ケーブルの支持方法を表す。	文字	2		コード
管路深さ又は配線高さ	管路布設の深さ又は架空ケーブル等の配線の高さ（小数点以下1位）	文字	3	1	m
管路設置道路延長	管路が設置されている道路延長（小数点以下1位）	文字	7	1	m
ケーブル敷設延長	光ケーブルの敷設延長（小数点以下1位）	文字	7	1	m
ケーブル敷設年月	光ケーブルの敷設年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
ケーブル種類C	光ケーブルの種類を表す。	文字	2		コード
ケーブル型式C	光ケーブルの型式を表す。	文字	2		コード
実装芯数	実際装置されているケーブルの芯線数	文字	3	0	本
敷設施設名称	光ケーブルが設置されている関連施設（共同溝、CAB等）の名称	文字	20		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(31) E334 光ケーブル端局

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当する光ケーブル端局を識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
所在地	該当する区間の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
端局設置年月	端局・接続箱の設置年月（年は西暦）	文字	6	0	
端局装置種別C	端局・接続箱の装置種別	文字	2		コード
端局設置区分C	端局・接続箱の設置区分	文字	2		コード
端局製造者名	端局・接続箱の製造者名（15文字以内）	文字	30		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」。	文字	5		コード

(32) E350 ビーコン基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
整理番号1	該当するビーコンを識別するためのデータである。	文字	—		
整理番号2	同上	文字	—		
整理番号3	同上	文字	—		
補助番号	同上	文字	—		
百米標	該当する区間の距離標（百米標）を表す。	数値	4		1 km
距離	該当する区間の距離標（百米標）からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地（字番地まで）（30文字以内）	文字	60		
完成年月	ビーコンが完成した年月。（年は西暦年）	文字	6	0	
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	1		コード
送信種別C	送信種別を表す。	文字	1		コード
ビーコン種類C	ビーコン種別を表す。	文字	2		コード
情報提供区間長	情報が提供される区間（サービスエリア間）の延長	文字	3		m
情報提供道路幅	情報が提供される区間（サービスエリア間）の道路幅（小数点以下1位）	文字	3		1 m
情報区分C	情報提供区分を表す。	文字	2		コード
AS名	AS（ビーコンセンターから送られてくる情報を受け持ち地域のビーコンに配信する制御装置）の名称（15文字以内）	文字	30		
AS設置場所	ASの設置場所（30文字以内）	文字	5		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	40		コード

5 詳細情報のサンプル

道路施設基本データ詳細情報のサンプルを以下に示す。

なお、各項目はダブルクォーテーション「”」で括る。

(1) 道路情報板を1基新設した場合

E06001.CSV

```
”路線”，”現旧区分”，”整理番号1”，”整理番号2”，”整理番号3”，”補助番号”，”百米標”，”距離”，”施設改修年度”，”完成年月”，”情報板種別C”，”表示方法C”，”制御方法C”，”市区町村C”，”0004”，”1”，””，””，””，””，”623.0”，”90”，”*”，”199403”，”1”，”4”，”3”，”02441”
```

(2) 防護柵を2箇所撤去した場合

E01001.CSV

```
”路線”，”現旧区分”，”整理番号1”，”整理番号2”，”整理番号3”，”補助番号”，”市区町村C”，”百米標自”，”距離自”，”百米標至”，”距離至”，”上り下り区分C”，”設置箇所C”，”防護柵種別C”，”設置区分C”，”設置延長”，”0007”，”1”，”0001”，”0000”，”0000”，”*”，”02441”，”418.0”，”20”，”418.0”，”50”，”1”，”1”，”101”，”1”，”30.0”
```

E01002.CSV

```
”路線”，”現旧区分”，”整理番号1”，”整理番号2”，”整理番号3”，”補助番号”，”市区町村C”，”百米標自”，”距離自”，”百米標至”，”距離至”，”上り下り区分C”，”設置箇所C”，”防護柵種別C”，”設置区分C”，”設置延長”，”0007”，”1”，”0002”，”0000”，”0000”，”*”，”02441”，”418.1”，”30”，”418.1”，”50”，”1”，”1”，”101”，”1”，”20.0”
```

(3) 道路標識を1基新設した場合（板が2枚）

E05001.CSV

```
”路線”，”現旧区分”，”整理番号1”，”整理番号2”，”整理番号3”，”補助番号”，”百米標”，”距離”，”上り下り区分C”，”設置箇所C”，”設置方式C”，”支柱形式C”，”基礎形式C”，”クリアランス”，”施設改修年度”，”完成年月”，”市区町村C”，”0016”，”1”，””，””，””，””，”57.3”，”25”，”1”，”1”，”11”，”11”，”1”，”5.1”，”*”，”199905”，”02441”
```

E05101.CSV

```
”整理番号1”，”整理番号2”，”整理番号3”，”補助番号”，”標識種類番号”，”板寸法縦”，”板寸法横”，””，””，””，””，”114-A”，”120”，”325”，””，””，””，””，”118”，”45”，”45”
```

6 . 道路施設基本データ関連の管理ファイル

6-1 工事管理ファイル、その他管理ファイルのXML記入項目

6-1-1 工事管理ファイルのXML 記入項目

電子成果品の工事管理ファイル「INDEX_C.XML」には、その他フォルダ「OTHRs」に格納する「ORG999」フォルダについて記載する。

(1) 工事管理ファイルの項目

電子成果品に格納する工事管理ファイル「INDEX_C.XML」の入力例を表3に示す。なお、網掛け部分が入力する項目である。

表 3 工事管理ファイル入力例

カテゴリ	項目名	入力例
基礎情報	メディア番号	2
	メディア総枚数	3
	適用要領基準	土木 200805-01
	発注図フォルダ名	DRAWINGS
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEC
	打合せ簿フォルダ名	MEET
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	MEET/ORG
	施工計画書フォルダ名	PLAN
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	PLAN/ORG
	完成図フォルダ名	DRAWINGF
	写真フォルダ名	PHOTO
	地質データフォルダ名	BORING
	その他フォルダ名	OTHRs
	その他オリジナルファイルフォルダ名	OTHRs/ORG999
その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	道路施設基本データフォルダ	
工事件名等	発注年度	2009
	工事番号	200911110123
	工事名称	国道1号〇〇舗装修繕工事
	工事実績システムバージョン番号	6.0
	工事実績システム登録番号	12345678K
	工事分野	道路
	工事業種	土木一式工事
	工種	歩行者系舗装工事
	工法型式	歩行者系舗装工
	住所コード	8220
	住所	茨城県つくば市〇〇3丁目〇〇番地
	工期開始日	2009-01-06
	工期終了日	2009-02-26
	工事内容	掘削工 8500m3、土止め工 2800m2、埋戻し工 9500m3、路面覆工 300m2
場所情報	測地系	01
	対象水系路線名	国道〇号
	現道-旧道区分	1
	対象河川コード	8606040001
	左右岸上下線コード	10
	起点側測点-n	15
	起点側測点-m	8
	終点側測点-n	18
	終点側測点-m	5
	起点側距離標-n	31
	起点側距離標-m	45
	終点側距離標-n	36

カテゴリ	項目名	入力例
	終点側距離標-m	67
	西側境界座標経度	1383730
	東側境界座標経度	1384500
	北側境界座標緯度	353500
	南側境界座標緯度	352000
施設情報	施設名称	〇〇トンネル
発注者情報	発注者-大分類	国土交通省
	発注者-中分類	〇〇地方整備局
	発注者-小分類	〇〇事務所
	発注者コード	10102124
請負者情報	請負者名	〇〇建設株式会社△△組共同企業体 (代表：〇〇建設株式会社)
	請負者コード	10012345000
予備		
ソフトメーカー用 TAG		

(2) 工事管理ファイルの出力例

工事管理ファイルの出力例を以下に示す。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "INDE_C04.DTD">
<constdata DTD_version="04">
<基礎情報>
  <メディア番号>2</メディア番号>
  <メディア総枚数>3</メディア総枚数>
  <適用要領基準>土木 200805-01</適用要領基準>
  <発注図フォルダ名>DRAWINGS</発注図フォルダ名>
  <特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGS/SPEC</特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>
  <打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
  <打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
  <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
  <施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
  <完成図フォルダ名>DRAWINGF</完成図フォルダ名>
  <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
  <地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名>
  <その他フォルダ名>OTHR</その他フォルダ名>
  <その他オリジナルフォルダ情報>
    <その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG999</その他オリジナルファイルフォルダ名>
    <その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>道路施設基本データフォルダ
    </その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>
  </その他オリジナルフォルダ情報>
</基礎情報>
<工事件名等>
  <発注年度>2009</発注年度>
  <工事番号>200911110123</工事番号>
  <工事名称>国道1号〇〇舗装修繕工事</工事名称>
  <工事実績システムバージョン番号>6.0</工事実績システムバージョン番号>
<工事実績システム登録番号>12345678K</工事実績システム登録番号>
  <工事分野>道路</工事分野>
  <工事業種>土木一式工事</工事業種>
  <工種-工法型式>
    <工種>歩行者系舗装工事</工種>
    <工法型式>歩行者系舗装工</工法型式>
  </工種-工法型式>
  <住所情報>
    <住所コード>08220</住所コード>
    <住所>茨城県つくば市〇〇3丁目〇〇番地</住所>
  </住所情報>

```

<工期開始日>2009-01-06</工期開始日>
 <工期終了日>2009-02-26</工期終了日>
 <工事内容>掘削工 8500m3、土止め工 2800m2、埋戻し工 9500m3、路面覆工 300m2</工事内容>
 </工事件名等>
 <場所情報>
 <測地系>01</測地系>
 <水系-路線情報>
 <対象水系路線名>国道〇号</対象水系路線名>
 <現道-旧道区分>1</現道-旧道区分>
 <対象河川コード>8606040001</対象河川コード>
 <左右岸上下線コード>10</左右岸上下線コード>
 <測点情報>
 <起点側測点-n>0015</起点側測点-n>
 <起点側測点-m>008</起点側測点-m>
 <終点側測点-n>0018</終点側測点-n>
 <終点側測点-m>005</終点側測点-m>
 </測点情報>
 <距離標情報>
 <起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
 <起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
 <終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
 <終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
 </距離標情報>
 </水系-路線情報>
 <境界座標情報>
 <西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>
 <東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>
 <北側境界座標緯度>0353500</北側境界座標緯度>
 <南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>
 </境界座標情報>
 </場所情報>
 <施設情報>
 <施設名称>〇〇トンネル</施設名称>
 </施設情報>
 <発注者情報>
 <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類>
 <発注者-中分類>〇〇地方整備局</発注者-中分類>
 <発注者-小分類>〇〇事務所</発注者-小分類>
 <発注者コード>10102124</発注者コード>
 </発注者情報>
 <請負者情報>
 <請負者名>〇〇建設株式会社△△組共同企業体(代表:〇〇建設株式会社)</請負者名>
 <請負者コード>10012345000</請負者コード>
 </請負者情報>
 <予備></予備>
 <ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>
 </constdata>

6-1-2 その他管理ファイルのXML 記入項目

電子成果品のおも管理ファイル「OTHERS.XML」には、おもフォルダ「OTHERS」に格納する「ORG999」フォルダ、道路施設基本データ管理ファイル「ORG999.XML」について記載する。

(1) その他管理ファイルの入力例

電子成果品のおも管理ファイル「OTHERS.XML」の入力例を表4に示す。なお、網掛け部分が入力する項目である。

表4 その他管理ファイルの入力項目

カテゴリ・項目名		入力例	
サブフォルダ情報	その他サブフォルダ名	ORG999	
	その他サブフォルダ日本語名	道路施設基本データフォルダ	
	資料名	道路基本データ管理ファイル	
	オリジナルファイル情報※1	シリアル番号	1
		オリジナルファイル名	ORG999.XML
		オリジナルファイル名日本語名	道路基本データ管理ファイル XML
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	○△□ワープロソフト_2008
		オリジナルファイル内容	道路基本データ管理ファイルの XML
		シリアル番号	2
		オリジナルファイル名	ORG99901.DTD
		オリジナルファイル名日本語名	道路基本データ管理ファイル DTD
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	○△□ワープロソフト_2008
		オリジナルファイル内容	道路基本データ管理ファイルの DTD
	その他	請負者説明文	
発注者説明文		道路施設基本データを格納する。	
予備			
ソフトメーカー用 TAG			

※1：複数存在する場合には、その項目を必要な回数繰り返す。

(2) その他管理ファイルの出力例

その他管理ファイルの出力例を以下に示す。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE othrsdata SYSTEM "OTHR04.DTD">
<othrsdata DTD_version="04">
  <サブフォルダ情報>
<その他サブフォルダ名> ORG999 </その他サブフォルダ名>
<その他サブフォルダ日本語名>道路施設基本データフォルダ</その他サブフォルダ日本語名>
<その他資料情報>
<資料名>道路基本データ管理ファイル</資料名>
<オリジナルファイル情報>
<シリアル番号>1</シリアル番号>
<オリジナルファイル名> ORG999.XML </オリジナルファイル名>
<オリジナルファイル日本語名>道路基本データ管理ファイル XML </オリジナルファイル日本語名>
<オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>○△□ワープロソフト_2008</オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>道路基本データ管理ファイルの XML </オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>
<オリジナルファイル情報>
<シリアル番号>2</シリアル番号>
<オリジナルファイル名> ORG99901.DTD </オリジナルファイル名>
<オリジナルファイル日本語名>道路基本データ管理ファイル DTD </オリジナルファイル日本語名>
<オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>○△□ワープロソフト_2008</オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報>
<オリジナルファイル内容>道路基本データ管理ファイルの DTD </オリジナルファイル内容>
</オリジナルファイル情報>
<その他>
<請負者説明文></請負者説明文>
<発注者説明文>道路施設基本データを格納する。</発注者説明文>
<予備></予備>
</その他>
</その他資料情報>
</サブフォルダ情報>
</othrsdata>

```

6-2 道路施設基本データ管理ファイルのXML入力項目およびDTD

6-2-1 道路施設基本データ管理ファイルのXML入力項目

道路施設基本データの管理ファイルとして「ORG999.XML」を作成し、ORG999 フォルダに格納する。また、「ORG999.XML」のデータ構造を示す「ORG99901.DTD」を用意する。

(1) ORG999 以下のフォルダ・ファイル構成

道路施設基本データを格納する「ORG999」フォルダ・ファイルの構成を、表 5に示す。

表 5 「ORG999」フォルダ内のフォルダ・ファイル構成

構成	名称／拡張子	解説
道路施設基本データ管理ファイル	ORG999.XML 拡張子：.xml *格納するORG999フォルダと名称を合わせる。	「道路施設基本データ管理ファイル」は、道路施設の基本属性を表すデータをXML文書（XMLバージョン1.0に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「ORG999.XML」とする。なお、「ORG99901.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。
道路施設諸元データフォルダ	SYOGEN	各種道路施設の諸元データは、「SYOGEN」フォルダに工種毎（施設毎）のサブフォルダを設けて格納する。サブフォルダは、工事内容に応じて関連するフォルダのみを作成するものとする。
道路施設基本データ位置図ファイル	Innn.PDF 拡張子：.pdf *「nnn」は連番（位置図ファイル数分）	ファイル名称はI（位置図を表すアルファベット）に連番「nnn」を付けたもの（道路施設基本データ位置図番号）とする。「SYOGEN」フォルダに格納する。
道路施設諸元サブフォルダ	例：D010	道路施設の諸元データは、施設諸元サブフォルダに格納する。施設諸元サブフォルダは、道路施設の種類毎に作成し、フォルダ名称は表2の施設番号に合わせる。
個別道路施設諸元サブフォルダ	例：D010ii ※1参照	道路施設の道路施設基本データ詳細情報、道路施設一般図、現況写真は、個別道路施設諸元サブフォルダに格納する。個別道路施設諸元サブフォルダは、道路施設基本データの作成施設単位毎に作成し、フォルダ名称は、道路施設諸元サブフォルダの名称に連番「ii」※1を付けたものとする。
道路施設基本データ詳細情報ファイル	例：D010ii.CSV 拡張子：.csv *「ii」は個別道路施設諸元サブフォルダと合わせる。	ファイル名称は道路施設基本データ詳細情報番号（D010、D011、D012など、表2参照）に連番「ii」※1を付けたものとする。
道路施設一般図フォルダ	例：S_DRAW	施設の一般図ファイルは、道路施設一般図フォルダに格納する。道路施設一般図フォルダは、一般図が必要な施設のみ作成する。
道路施設一般図ファイル	例：D010iiij. JPG、 D010iiij. P21 拡張子：.jpg、p21 ※2参照	ファイル名称は個別道路施設諸元サブフォルダの名称に連番「jj」※2を付けたものとする。
道路施設現況写真フォルダ	S_PHOTO	現況写真ファイルは、道路施設現況写真フォルダに格納する。道路施設現況写真フォルダは、現況写真が必要な施設のみ作成する。

構成				名称／拡張子	解説
			現況写真ファイル	例：D010iijj.JPG 拡張子：.jpg	ファイル名称は個別道路施設諸元サブフォルダの名称に連番「jj」 ^{※2} を付けたものとする。

※1：「ii」は作成対象施設数分の連番になり、連番が10を超える場合は、アルファベット（半角大文字）および数字（半角）を用いる。具体的には、01・02・・・09・0A・・・0Z・10・11・・・1Z・20・・・となる。（最大はZZ）

※2：「jj」は連番が100を超える場合、アルファベット（半角大文字）および数字（半角）を用いる。例、100～109の場合はA0～A9、110～119の場合はB0～B9、120～129の場合はC0～C9とする。

(2) 道路施設基本データ管理ファイルの入力項目

電子成果品の道路施設基本データ管理ファイル「ORG999.XML」の入力項目および入力例を表6に示す。但し、個人情報保護法上の問題が生じる項目については入力を省略してもよい。

表6 道路施設基本データ管理ファイルの入力項目

カテゴリ	入力項目		データ形式	入力例	必要度	
道路施設諸元データフォルダ情報	道路施設諸元データフォルダ名		半角英数字大文字 127 文字	SYOGEN	◎	
	道路施設諸元データフォルダ日本語名（固定）		全角文字 14 文字	道路施設諸元データフォルダ名	◎	
工事の概要	概要		全角文字, 半角英数字 127 文字	〇〇に関する工事	◎	
	供用未供用の別		全角文字 3 文字	供用	◎	
	供用予定	供用年	半角英数字 4 文字	2009	◎	
		供用月	半角英数字 2 文字	3	◎	
データ作成基礎情報	データ作成者	請負会社	現場代理人	全角文字, 半角英数字 127 文字	×× ××	△
			主任技術者	全角文字, 半角英数字 127 文字	〇〇 〇〇	△
			連絡先	TEL	半角英数字 12 文字	0999-99-9999
		FAX		半角英数字 12 文字	0999-99-1111	△
		E-Mail	半角英数字 127 文字	〇〇〇@〇〇.jp	△	
	監督職員	監督部署	全角文字, 半角英数字 127 文字	■ ■ ■ ■	△	
		主任監督員	全角文字, 半角英数字 127 文字	△△ △△	△	
		監督員	全角文字, 半角英数字 127 文字	☆☆ ☆☆	△	
	発注担当課長		全角文字, 半角英数字 127 文字	□□ □□	△	
	データ作成対象施設		道路施設種別※1※2	半角英数字大文字 4 文字	D010	◎
道路施設諸元サブフォルダ情報※1	道路施設諸元サブフォルダ名		半角英数字大文字 127 文字	D010	◎	
	道路施設諸元サブフォルダ日本語名		半角英数字大文字 127 文字	D010	◎	
	個別道路施設諸元サブフォルダ※1	個別道路施設諸元サブフォルダ名		半角英数字大文字 127 文字	D01001	◎
		個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名※3		半角英数字大文字 127 文字	D01001	◎
	道路施設情報	道路施設名称	全角文字, 半角英数字 127 文字	●●橋	◎	
		工事区分※4	全角文字 2 文字	改良	◎	
	道路施設基本データ詳細情報	道路基本データファイル名※1	半角英数字大文字 127 文字	D01001.CSV	◎	
	図面フォルダ	図面フォルダ名		半角英数字大文字 127 文字	S_DRAW	◎
		図面フォルダ日本語名（固定）		全角文字 6 文字	図面フォルダ	◎
		図面ファイル名※1		半角英数字大文字 127 文字	D0100101.P21	◎
	写真フォルダ	写真フォルダ名		半角英数字大文字 127 文字	S_PHOTO	◎
		写真フォルダ日本語名（固定）		全角文字 6 文字	写真フォルダ	◎
写真ファイル名※1		半角英数字大文字 127 文字	D0100101.JPG	◎		
備考	備考				△	

凡例 ◎：必須記入 △：任意記入

- ※1：複数存在する場合には、その項目を必要な回数繰り返す。
- ※2：道路施設種別は、表2に示している施設名に対応する施設番号とする。
- ※3：個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名は、サブフォルダ名称とする。
- ※4：工事区分は、「新設」、「改良」、「撤去」のいずれかとする。

(3) 道路施設基本データ管理ファイルの出力例

道路施設基本データ管理ファイルの出力例を以下に示す。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE orgdata SYSTEM "ORG99901.DTD">
<orgdata DTD_version="01">
<道路施設諸元データフォルダ情報>
<道路施設諸元データフォルダ名>SYOGEN</道路施設諸元データフォルダ名>
<道路施設諸元データフォルダ日本語名>道路施設諸元データフォルダ名</道路施設諸元データフォルダ日本語名>
</道路施設諸元データフォルダ情報>
<工事の概要>
<概要>〇〇に関する工事</概要>
<供用未供用の別>供用</供用未供用の別>
<供用予定>
<供用年>2009</供用年>
<供用月>3</供用月>
</供用予定>
</工事の概要>
<データ作成基礎情報>
<データ作成者>
<請負会社>
<現場代理人>×× ××</現場代理人>
<主任技術者>〇〇 〇〇</主任技術者>
<連絡先>
<TEL>0999-99-9999</TEL>
<FAX>0999-99-1111</FAX>
<E-Mail>〇〇〇@〇〇.jp</E-Mail>
</連絡先>
</請負会社>
<監督職員>
<監督部署>■■ ■■</監督部署>
<主任監督員>△△ △△</主任監督員>
<監督員>☆☆ ☆☆</監督員>
</監督職員>
<発注担当課長>□□ □□</発注担当課長>
</データ作成者>
<データ作成対象施設>
<道路施設種別>D010</道路施設種別>
</データ作成対象施設>
</データ作成基礎情報>
<道路施設諸元サブフォルダ情報>
<道路施設諸元サブフォルダ名>D010</道路施設諸元サブフォルダ名>
<道路施設諸元サブフォルダ日本語名>D010</道路施設諸元サブフォルダ日本語名>
<個別道路施設諸元サブフォルダ>
<個別道路施設諸元サブフォルダ名>D01001</個別道路施設諸元サブフォルダ名>
<個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名> D01001</個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名>
<道路施設情報>
<道路施設名称>●●橋</道路施設名称>
<工事区分>改良</工事区分>
</道路施設情報>

```

<道路施設基本データ詳細情報>
 <道路施設基本データファイル名>D01001.CSV</道路施設基本データファイル名>
 </道路施設基本データ詳細情報>
 <図面フォルダ>
 <図面フォルダ名>S_DRAW</図面フォルダ名>
 <図面フォルダ日本語名>図面フォルダ</図面フォルダ日本語名>
 <図面ファイル名>D0100101.P21</図面ファイル名>
 </図面フォルダ>
 <写真フォルダ>
 <写真フォルダ名>S_PHOTO</写真フォルダ名>
 <写真フォルダ日本語名>写真フォルダ</写真フォルダ日本語名>
 <写真ファイル名>D0100101.JPG</写真ファイル名>
 </写真フォルダ>
 </個別道路施設諸元サブフォルダ>
 </道路施設諸元サブフォルダ情報>
 <備考></備考>
 </orgdata>

6-2-2 道路施設基本データ管理ファイルのDTD

道路施設基本データの管理ファイルのDTDを作成する。

(1) 道路施設基本データ管理ファイルのDTD 作成例

道路施設基本データ管理ファイルのDTD 作成例を次に示す。

```

<!--ORG99901.DTD / 2005/03 -->
<!ELEMENT orgdata (道路施設諸元データフォルダ情報, 工事の概要, データ作成基礎情報, 道路施設諸元サブフォルダ情報+, 備考)>
<!ATTLIST orgdata DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!--*****-->
<!--                道路施設諸元データフォルダ情報                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 道路施設諸元データフォルダ情報 (道路施設諸元データフォルダ名, 道路施設諸元データフォルダ日本語名)>
<!ELEMENT 道路施設諸元データフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 道路施設諸元データフォルダ日本語名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--                工事の概要                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 工事の概要 (概要, 供用未供用の別, 供用予定?)>
<!ELEMENT 概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 供用未供用の別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 供用予定 (供用年, 供用月)>
<!ELEMENT 供用年 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 供用月 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--                データ作成基礎情報                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT データ作成基礎情報 (データ作成者, データ作成対象施設)>
<!ELEMENT データ作成者 (請負会社, 監督職員, 発注担当課長)>
<!ELEMENT 請負会社 (現場代理人, 主任技術者, 連絡先)>
<!ELEMENT 現場代理人 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 主任技術者 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 連絡先 (TEL, FAX, E-Mail)>
<!ELEMENT TEL (#PCDATA)>
<!ELEMENT FAX (#PCDATA)>

```

```

<!ELEMENT E-Mail (#PCDATA)>
<!ELEMENT 監督職員（監督部署，主任監督員，監督員）>
<!ELEMENT 監督部署（#PCDATA）>
<!ELEMENT 主任監督員（#PCDATA）>
<!ELEMENT 監督員（#PCDATA）>
<!ELEMENT 発注担当課長（#PCDATA）>
<!ELEMENT データ作成対象施設（道路施設種別+）>
<!ELEMENT 道路施設種別（#PCDATA）>

<!--*****-->
<!--          道路施設諸元サブフォルダ情報          -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 道路施設諸元サブフォルダ情報（道路施設諸元サブフォルダ名+，道路施設諸元サブフォルダ日本語名+，個別道路施設諸元サブフォルダ+）>
<!ELEMENT 道路施設諸元サブフォルダ名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 道路施設諸元サブフォルダ日本語名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 個別道路施設諸元サブフォルダ（個別道路施設諸元サブフォルダ名，個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名，道路施設情報，道路施設基本データ詳細情報，図面フォルダ*，写真フォルダ*）>
<!ELEMENT 個別道路施設諸元サブフォルダ名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 道路施設情報（道路施設名称，工事区分）>
<!ELEMENT 道路施設名称（#PCDATA）>
<!ELEMENT 工事区分（#PCDATA）>
<!ELEMENT 道路施設基本データ詳細情報（道路施設基本データファイル名+）>
<!ELEMENT 道路施設基本データファイル名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 図面フォルダ（図面フォルダ名，図面フォルダ日本語名，図面ファイル名+）>
<!ELEMENT 図面フォルダ名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 図面フォルダ日本語名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 図面ファイル名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 写真フォルダ（写真フォルダ名，写真フォルダ日本語名，写真ファイル名+）>
<!ELEMENT 写真フォルダ名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 写真フォルダ日本語名（#PCDATA）>
<!ELEMENT 写真ファイル名（#PCDATA）>

<!--*****-->
<!--          備考          -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 備考（#PCDATA）>

```

国土技術政策総合研究所資料
TECHNICAL NOTE of N I L I M
No. 493 December 2008

編集・発行 ©国土技術政策総合研究所

本資料の転載・複写の問い合わせは
〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地
企画部研究評価・推進課 TEL 029-864-2675